

台東区独自の第三者評価の結果報告書を公表します。

認定こども園の第三者評価について

(1)「東京都福祉サービス第三者評価」における対象施設

- ・ 認可保育所・認証保育所・・・対象となる
- ・ 認定こども園・・・**対象とならない** ⇒ **独自の評価**

※認定こども園の「保育所部分」のみを「認可保育所」または「認証保育所」として評価を実施した場合は対象となる

(2) **台東区独自の第三者評価**

今回、台東区で実施した認定こども園の評価については、「東京都福祉サービス第三者評価」における認可保育所の評価項目をベースとして、認定こども園独自の項目を追加しました。

また、東京都福祉サービス第三者評価と同様に、「東京都福祉サービス評価推進機構」の認証を得ている評価機関に評価を依頼しました。

石浜橋場こども園の第三者評価について

公設公営の幼保連携型認定こども園『石浜橋場こども園』では、21年度に続き、24年度に2回目の第三者評価を実施しました。

認定こども園独自の項目として、幼稚園機能と保育園機能の一体的な提供や、子育て支援事業に関する項目等を追加しています。

公表の内容

ここで公表しているのは、「台東区独自の第三者評価」の結果報告書です。報告書の様式については、「東京都福祉サービス第三者評価」の結果報告書の様式を準用しています。

*****お問い合わせ*****

台東区教育委員会 学務課こども園担当
石浜橋場こども園

☎03(5246)1414
☎03(3876)0049

次のページより、「認定こども園第三者評価結果報告書」を公表します。

認定こども園第三者評価 結果報告書 （概要版）

株式会社 学研 データサービス

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13

TEL 03-5436-8191 FAX 03-5487-8810

目次

ページ

こども園第三者評価の実施		1
I 利用者調査		1
II 事業評価		1
III 評価結果の見方		2
IV 事業評価結果一覧		3
I．第三者評価・実施報告書		
全体の評価講評		I - 1
事業者が特に力を入れている取り組み		I - 2
I 組織マネジメント項目（カテゴリ 1 ～ 5， 7， 8）		I - 3 ～ I - 15
II サービス提供のプロセス項目		I - 16 ～ I - 23
（カテゴリ 6 - 1 ～ 4， 6 - 6 ～ 7）		
III サービスの実施項目（カテゴリ 6 - 5）		I - 24 ～ I - 29
利用者（在園児の保護者）調査		I - 30 ～ I - 36
II．保護者アンケート調査結果（データ集計）		
第三者評価利用者（在園児保護者用）アンケート調査結果		II - 1-1 ～ II - 1-5
第三者評価利用者（子育て支援事業の利用保護者用）アンケート調査結果		II - 2-1 ～ II - 2-2
III．職員自己調査結果（データ集計）		
福祉サービス第三者評価 自己評価集計（職員）		III - 1 ～ III - 5

こども園第三者評価の実施概要

○評価手法「利用者調査」及び「事業評価」の2種類の手法で行います。

I 利用者調査

1. 利用者調査の目的

- ・実際にこども園を利用されている保護者の方が、日々の幼児教育・保育に対して感じていること、また意見や要望について把握する。

2. 調査方法

- ・利用者調査は原則として利用者（保護者）本人への全数調査。
- ・利用者調査（保護者アンケート調査）は無記名とし、配布は園を通じて手渡しし、回収方法については、第三者性を高めるため、評価機関へ直接郵送する形式で実施。

II 事業評価

1. 調査の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また現在提供されているサービスの質がどのような状況にあるかについて第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施したうえで合議により評価を決定した。

2. 評価者による訪問調査及び評価合議日

訪問調査日	2013年1月22日
評価合議日	2013年2月13日

3. 共通評価項目

事業評価は機構の定める共通評価項目を用いて、事業者による自己評価等の分析及び訪問調査等により組織体としてのマネジメント力や現在提供されているサービスの質を評価する手法をいいます。共通評価項目は、以下の8つのカテゴリー（領域）で構成されています。各カテゴリーは、さらにサブカテゴリー→評価項目に細分化されます。

カテゴリー1	リーダーシップと意思決定	→	カテゴリー6
カテゴリー2	経営における社会的責任		サブカテゴリー
カテゴリー3	保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画		(1) サービス情報の提供
カテゴリー4	安全管理		(2) サービスの開始・終了時の対応
カテゴリー5	職員と組織の能力向上		(3) 計画の策定と着実な行動
カテゴリー6	サービス提供のプロセス		(4) 個別状況に応じた計画策定・記録
カテゴリー7	情報の保護・共有		(5) サービスの実施
カテゴリー8	1～7に関する活動成果		(6) プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重
			(7) こども園業務の標準化

Ⅲ 評価結果の見方

○ カテゴリー1～7

各評価項目に属する標準項目について、実施が確認できたもの（満たしているもの）を○、実施が確認できないもの（満たしていないもの）を●で表し、それらを並べたものが評点です。

例 評価項目に属する標準項目が4つの場合

評点	評価基準
○○○○	標準項目をすべて満たしている状態
○○○●	標準項目を1つ満たしていない状態
○○●●	標準項目を2つ満たしていない状態
○●●●	標準項目を3つ満たしていない状態
●●●●	標準項目をすべて満たしていない状態

なお、標準項目を確認できた（満たしている）とすることができるのは、次のすべてを充足した場合です。

- ア 事業者が当該事項を実施していること
- イ その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
- ウ その根拠が示せること

○ カテゴリー8

カテゴリー8は、評点を設定していませんが、各評価項目ごとに、事業者の取り組み状況及び活動成果に応じて、次のいずれかの標語を表すことにしています。

- ・改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- ・改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ・改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

○ 評点では表記しきれない事業所の事態やサービスの質については、講評に記載します。

事業評価結果一覧

I 組織マネジメント項目（カテゴリ1～5，7，8）

カテゴリ1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリ1 認定こども園として目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		評点
評価項目1	園が目指していること（理念・基本方針など）を明示している	〇〇〇〇
評価項目2	管理者（認定こども園長・副園長・保育長）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、こども園をリードしている	〇〇
評価項目3	重要な案件について、管理者は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	〇〇〇

カテゴリ2 経営における社会的責任

サブカテゴリ1 社会人・福祉サービス事業者・教育機関として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目1	社会人・福祉サービス・幼児教育に従事する者として守るべき法（児童福祉法、学校教育法、消防法、学校保健法、労働基準法等）・規範・倫理などを周知している	〇〇
評価項目2	第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	〇〇

サブカテゴリ2 地域の福祉に役立つ取組を行っている

評価項目1	園の機能や幼児教育・福祉の専門性をいかした取組がある	〇〇
評価項目2	地域の関係機関との連携を図っている	〇〇

カテゴリ3 保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画

サブカテゴリ1 保護者の意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1	保護者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）	〇〇
評価項目2	保護者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	〇〇〇
評価項目3	地域・事業に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	〇〇〇

サブカテゴリ2 こども園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定している

評価項目1	外部環境、内部環境を踏まえて、こども園の中長期計画を策定している	〇〇〇〇
-------	----------------------------------	------

カテゴリ4 安全管理

サブカテゴリ1 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1	子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる ※事故、感染症の発生時などの対応、防犯・防火等	〇〇〇 〇〇〇
-------	--	------------

カテゴリ5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1 こども園が目指していることを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1	園にとって必要な人材構成にしている	〇〇〇
評価項目2	職員の質の向上に取り組んでいる	〇〇〇 〇〇

サブカテゴリ2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	〇〇〇
評価項目2	職員一人ひとりのやる気向上に取り組んでいる	〇〇〇〇
評価項目3	円滑なコミュニケーションを図り、組織として質の向上に取り組んでいる	〇〇〇

カテゴリ 7 情報の保護・共有

サブカテゴリ 1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目 1	こども園が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	〇〇〇
評価項目 2	個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	〇〇〇〇

カテゴリ 8 カテゴリー 1～7に関する活動成果

サブカテゴリ 1 前年度と比べ、こども園の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目 1	前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	カテゴリー 1：「リーダーシップと意思決定」	
	カテゴリー 2：「経営における社会的責任」	
	カテゴリー 4：「安全管理」	

サブカテゴリ 2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目 1	前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	カテゴリー 5：「職員と組織の能力向上」	

サブカテゴリ 3 前年度と比べ、サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目 1	前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	カテゴリー 6：「サービス提供のプロセス」	
	カテゴリー 7：「情報の保護・共有」	

サブカテゴリ 4 前年度と比べ、保護者の満足や意向の把握等の面で向上している

評価項目 1	前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	カテゴリー 3：「保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画」	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリ 6－1～4、6－6～7）

サブカテゴリ 1 サービス情報の提供

評価項目	評点
評価項目 1 保護者等に対してサービスの情報を提供している	〇〇〇

サブカテゴリ 2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	〇〇〇
評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	〇〇〇〇

サブカテゴリ 3 計画の策定と着実な行動

評価項目 1 こども園としての教育課程・保育計画は、理念・基本方針に基づき策定されている	〇〇〇〇
評価項目 2 子どもの発達や状況に応じた指導計画を策定している	〇〇〇〇

サブカテゴリ 4 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 1 必要に応じて定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	〇〇〇
評価項目 2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している	〇〇〇 〇〇〇
評価項目 3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	〇〇
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	〇〇

サブカテゴリ 6 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している	〇〇
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	〇〇〇
評価項目 3 障害児を受け入れるにあたり、保育内容の配慮を行っている	〇〇〇

サブカテゴリ 7 こども園業務の標準化

評価項目 1 手引書等を整備し、こども園業務の標準化を図るための取り組みをしている	〇〇〇〇
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	〇〇〇
評価項目 3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	〇〇〇 〇〇

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリ 6－5）

評価項目 1 子どもの発達を促すための保育を行っている	〇〇〇 〇〇〇
評価項目 2 幼稚園と保育園の機能が一体的に提供されている	〇〇〇〇
評価項目 3 適切な教育・保育環境を整えている	〇〇〇〇 〇〇〇〇
評価項目 4 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している	〇〇〇 〇〇 非該当 1
評価項目 5 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	〇〇〇〇
評価項目 6 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	〇〇〇
評価項目 7 こども園と家庭との交流・連携を緊密に行っている	〇〇〇 〇〇
評価項目 8 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている	〇〇〇〇
評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	〇〇〇 〇〇〇
評価項目 10 地域のニーズに対応した子育て支援事業を行っている	〇〇〇 〇〇
評価項目 11 小学校との連携を行っている	〇〇〇〇

福祉サービス第三者評価結果報告書

年 月 日

〒 141-0031

所在地 東京都品川区西五反田8-1-13

評価機関名 株式会社 学研データサービス

認証評価機関番号 機構 05 ー 149

電話番号 03-5436-8191

代表者氏名 佐藤 敏和

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H0702039
	②		福祉	H0901059
	③		福祉 経営	H0802009
	④		福祉 経営	神機構-558
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認定こども園			
評価対象事業所名称	石浜橋場こども園			
事業所連絡先	〒	111-0023		
	所在地	東京都台東区橋場1-35-1		
	Tel	03-3876-0049		
事業所代表者氏名	園長 中山 和佳子			
契約日	2012 年	9 月	6 日	
利用者調査票配付日(実施日)	2012 年	11 月	6 日	
利用者調査結果報告日	2013 年	1 月	9 日	
自己評価の調査票配付日	2012 年	9 月	21 日	
自己評価結果報告日	2012 年	12 月	17 日	
訪問調査日	2013 年	1 月	22 日	
評価合議日	2013 年	2 月	13 日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査および自己評価を開始する前に、評価実施スケジュール・利用者調査の方法・自己評価票の記入方法などについての詳細の打ち合わせを行いました。 訪問調査につきましては、昼食などの様子を含めて保育・教育の様子についても十分に見学をいたしました。 ヒアリングにつきましては、園の責任者だけでなく、関係職員についても実施いたしました。 利用者調査(保護者アンケート調査)の回収方法については、第三者性を高めるため、評価機関へ直接郵送する形式で実施いたしました。			

I . 第三者評価・実施報告書 (公表部分)

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの主体性を大切にするとともに、友だちとの協同的な関係も大切に教育・保育をしています
	内容	平成24年度の教育課程の策定にあたり、指導の重点目標の一つに「子ども自ら主体的にかかわる人的・物的環境を整える」ことをあげています。実際の保育も、子どもたちの興味や関心が向く環境を設定するとともに、友だちとの協同的な関係を大切に教育・保育を心がけています。職員は意図的・計画的に環境を設定し、子どもたちが主体的に遊び、目的が実現できるよう、必要な援助をしながら見守っています。
2	タイトル	園内研究推進メンバーを中心に園内研修が充実しています
	内容	園内研究推進委員会（メンバーは各学年1名ずつ、副園長、主任教諭、フリーの保育者の8名で構成）を設置して、園内研究年間計画を作り、全職員が取り組んでいます。今年度の研究テーマは「心も体もたくましい子どもを育てる」です。このテーマのもとに、子どもたちは、どんな経験をして、どんな成長をしていくかを研究していきます。そして、外部の大学の講師に適宜アドバイスをいただき軌道修正をしながら進めます。このような研究を通して、職員の自信や意欲につなげ、新たな体制づくりを確立し、向上心を高めていきます。
3	タイトル	短時間児、長時間児担任双方のコミュニケーションが良好です
	内容	教諭や保育士など、当園は認定こども園として複合的な職員構成になっています。そのうえ、非常勤職員や臨時職員がいますので、よほど連携を密にとっていないとスムーズな運営が難しくなります。当園はそのような職員構成ですが、職員同士のコミュニケーションは極めて良好です。園全体の雰囲気も明るく、職員同士も活気のある良好な関係です。こういった職員の明るい雰囲気と良好な関係が子どもたちに伝播し、子どもたちにも明るく、礼儀正しい雰囲気が身についています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	短時間児、長時間児の保護者同士お互いの理解がさらに深まる取り組みを期待します
	内容	認定こども園創立まもない時期は、幼稚園教育と保育所の保育の融合などのねらいが保護者に十分伝わりきれなかった傾向にありました。ライフスタイルや価値観の違う保護者がこども園に通ってきていますので認識の違いは当然です。行事の平日開催やPTA会議の開催時間、あるいは、園行事のお手伝いなどの捉え方の違いが典型的な例ですが、その違いについて管理者層が繰り返し理解を求めてきた結果、お互いの意識の改善が図られてきています。今後、さらにお互いの理解が深まり、円滑な関係が築かれていくような取り組みを期待します。
2	タイトル	給食後の過ごし方について職員会議で話し合われることを望みます
	内容	子どもたちの給食は西園でいただきます。どの子どもも楽しい会話を交えながらおいしそうに食べていました。お当番の子どもの「いただきます」のあいさつのもとに食しますが、食べ終わりがばらばらな状態で、早く食べ終わって部屋の中を動きまわる子どもの姿も見られます。また、食後には4歳児のランチルームで歯磨きをすることになっているようですが、しない子どもも見受けられました。今後、早く食べ終わった子どもの過ごし方や歯磨きの仕方、あるいは、給食後の過ごし方についての具体策を話し合われることを望みます。
3	タイトル	ディスプレイの得意な職員を中心に壁面装飾やインテリアの工夫をされるとよりすばらしいでしょう
	内容	短時間児も長時間児も3～5歳児は東園で過ごします。建物は清掃も行き届いて、明るくなっている子どもたちには良好な環境になっています。廊下も広く、保育室も広いので子どもたちは職員のあらかじめ工夫された環境設定の中で自由に遊んでいます。欲を言えば、壁面の装飾がやや寂しい感じがします。また、いろいろな遊具や道具が豊富にあるせいか、やや雑然とした印象がありました。雰囲気作りの一環として、ディスプレイの得意な職員を中心に壁面装飾やインテリアの工夫をされると、よりすばらしいでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル①	毎年研究テーマを設け、全職員で取り組んでいます	
内容①	毎年研究テーマを設け、全職員が取り組んでいます。昨年度は乳児が砂場の砂に触れたがらない、ぬるぬるした感触を嫌がる、幼児が伸び伸びとした表現ができていないという現象について話し合い、製作場面を通して「乳幼児期にふさわしい環境を考える」というテーマで、台東区教育委員会研究協力園として2年間取り組み、研究・発表をしてきました。今年度は、「心も体もたくましい子ども育てる」をテーマとし、乳幼児期にふさわしい環境や援助について研究を行っています。なお、大学の教授に指導をいただいています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	2-2-1	園の機能や幼児教育・福祉の専門性を生かした取り組みがある
タイトル②	地域の子育て支援活動が年々充実してきています	
内容②	認定こども園の役割の一つである「地域の子育て支援」事業について多彩な活動を行っています。「すくすくふれあいひろば」は妊娠・子育て中の親同士の仲間作りのお手伝い、「すくすくタイム」は1～2歳児の子どもが保護者と一っしょに1～2歳の在園児の中に入って遊びます。「なかよし会」は未就園児の親子がこども園の遊具で遊びます。このほか、子育て相談や外出中の急なオムツ替えや授乳の緊急場所として施設を利用してもらおうといった「赤ちゃんの駅」もあります。これらの活動は年々地域に定着してきて利用者も増えてきています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-5-3	適切な教育・保育環境を整えている
タイトル③	毎年、「教育・保育計画」を作成し、充実した保育を実践しています	
内容③	毎年「教育・保育計画」の冊子を作っています。冊子には1～5歳児の教育・保育のポイント、3～5歳児のねらいと内容、各年齢の教育・保育計画、子育て支援事業、参考資料などの柱で、教育・保育のエッセンスが詰まっています。なかでも年間計画にそった各年齢の保育資料は、台東区幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」を踏まえ特に充実しています。「一人ひとりが安心して遊べるように」という柱で材料や遊具、「いろいろな素材の感触を味わう」ではさまざまな造形素材、そのほか、手遊び、歌、絵本やお話しなど豊富な資料を収録しています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	認定こども園として目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 園が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	あり	1. 園が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	あり	2. 園が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取組を行っている
	あり	3. 園が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、保護者の理解が深まるような取組を行っている
	あり	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、園が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取組を行っている(会議中に確認できるなど)
	評価項目2 管理者(認定こども園長・副園長・保育長)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、こども園をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	あり	1. 管理者は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	あり	2. 管理者は、自らの役割と責任に基づいて行動している

評価項目3 重要な案件について、管理者は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
あり	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
あり	3. 保護者に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリ1の講評		
当園は人権尊重の精神を貴重として、心豊かでたくましい幼児の育成を目指しています。そして、幼児期にふさわしい体験を通して、生きる力の基礎を育てることを根底におき、教育・保育目標を「健康で明るい子ども」「心やさしく思いやりのある子ども」「自分で考え進んで行動する子ども」としています。教育課程や経営方針、経営計画など重要な書類には全て教育・保育目標を掲載し、職員に周知しています。保護者へは、園の要覧や入園のしおり、園だよりに記載するとともに、保護者会のたびに園長が話しをして理解を求めています。 当園は幼稚園機能と保育所機能、子育て支援機能を持つ認定こども園(幼保連携型)です。総合責任者の園長、それを補佐する副園長、長時間保育を主として管轄する保育長といった管理者を中心に構成されています。そして、教務、学務、行事のほかには詳細な園務分掌があり、それぞれ職員が役割を担っています。そして、企画会議や職員会議、毎日の朝会などで密に連携し、園長や副園長、保育長の責務について職員に伝えています。その中で園長は、幼い命を預かっているという強い使命感を持って働くことを、ことあるごとに職員に伝えています。 重要な案件については、職員会議の前に企画会議を開き、打ち合わせを行っています。企画会議のメンバーは、園長、副園長、保育長、主任、フリーの職員3名からなる7名で構成されています。また、日常のいろいろな案件については、職員から副園長に申し出るようになっています。そこで検討された結果は園長に報告され決定します。保護者に伝える事柄については、PTAの4役会議(会長、3名の副会長、園長)で報告し、それらをPTAの役員会におろした後、全保護者に周知しています。		

カテゴリ2	
2	経営における社会的責任
サブカテゴリ1	
社会人・福祉サービス事業者・教育機関として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	
評価項目1 社会人・福祉サービス・幼児教育に従事する者として守るべき法（児童福祉法、学校教育法、消防法、学校保健法、労働基準法等）・規範・倫理などを周知している 評点（〇〇）	
評価	標準項目
あり	1. 福祉サービス・幼児教育に従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している
あり	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点（〇〇）	
評価	標準項目
あり	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
あり	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法（園便り・会報など）で地域社会に園に関する情報を開示している
サブカテゴリ2	
地域の福祉に役立つ取組を行っている	
評価項目1 園の機能や幼児教育・福祉の専門性をいかした取組がある 評点（〇〇）	
評価	標準項目
あり	1. 園の機能や専門性は、子どもや保護者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）
あり	2. 地域の人や関係機関を対象に、園の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている

評価項目2 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	
あり	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	
カテゴリ2の講評		
台東区では人権教育に力を入れています。従って当園においても台東区の方針に沿い「人権教育年間指導計画」を作成しています。子どもの気持ちを大事にする、友だちの痛みや気持ちを理解するといった人としてのあり方を大切にするを、園長は月2回の職員会議や毎朝の朝会で話しています。また、連合校園長会(幼稚園、保育所、小・中学校、こども園)や保育園の園長会などに出席し、そこで得た人権に関する情報を職員に伝えています。 平成20年に認定こども園ができ、その後21年に第1回目の第三者評価を受審しました。その結果について、改善すべき点は職員が話し合い前向きに取り組んできました。そして、保護者にも結果のファイルを玄関に置き、いつでも見られるようにしてきました。また、台東区のホームページでも見られます。今回も2回目の第三者評価を受審して改善を図っています。当園の情報については、園だよりを町内会、近隣の住民、図書館、役所、小・中学校、PTA顧問、歴代の園長など幅広く提供して理解してもらうように努めています。 当園は、未就園児の親子に対してのさまざまな子育て支援事業を実施しています。具体的には、月1～2回妊娠・子育て中の仲間作りやくつろぎの場を提供する「すくすくふれあいひろば」、月1回、1～2歳の在園児のクラスと一緒に過ごす「すくすくタイム」、月1～2回未就園児の親子対象の「なかよし会」、一時保育、このほか、子育て相談、「赤ちゃんの駅」などです。また、「公立保育園合同子育て広場」のメンバーになっており、年2回、未就園の地域の親子に手作りおもちゃでの遊びや栄養士による食事の相談などを行っています。		

カテゴリ3		
3	保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画	
サブカテゴリ1		
保護者の意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 保護者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 苦情解決制度を利用できることや園以外の相談先(第三者委員)を遠慮なく利用できるしくみについて、保護者に伝えている	
あり	2. 保護者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	
評価項目2 保護者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 保護者アンケートなど、園側からの働きかけにより保護者の意向を把握することに取り組んでいる	
あり	2. 園が把握している保護者の意向を取りまとめ、保護者から見たサービスの現状・問題を把握している	
あり	3. 保護者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 地域の幼児教育・保育や子育て支援に関するニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
あり	2. 幼児教育・保育事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	
あり	3. 園としての今後のあり方の参考になるように、地域の幼児教育・保育や子育て支援に関するニーズや幼児教育・保育事業全体の動向を整理・分析している	

サブカテゴリ2		
こども園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定している		
評価項目1 外部環境、内部環境を踏まえて、こども園の中長期計画を作成している		
評価	標準項目	
あり	1. 事業運営に必要な情報を収集・分析し、中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している	
あり	2. 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している	
あり	3. 重要な情報は主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている	
あり	4. 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている	
カテゴリ3の講評		
保護者の要望や意見、あるいはクレームについては基本的には毎日の登降園や保護者会、あるいは行事などのイベントの際に口頭で受けることが多いのが現状です。しかし、書面にて対応することも必要と考え、「クレーム対応マニュアル」「クレーム対応の手順」などを作成し、職員間で周知し、保護者へはいつでも気軽に伝えてもらうように「ご意見カード」も用意しています。また、受け入れの担当は主として副園長とし、窓口を一本化しました。さらに、解決の責任者は園長であることも保護者に繰り返し伝えていきます。 保護者の意向や要望については行事ごとにアンケートを行い、次への改善につなげています。例えば、運動会の徒競走は結果の順位をはっきりつけてほしい、運動会を室内で実施しているが外で行ってほしい、といった要望などです。園長はそのつど、教育的見地や実情などを丁寧に説明し、理解を求めています。また、年度末に「教育・保育活動に関するアンケート」(29項目の質問を5段階評定で実施)を実施し、その結果を分析して課題を見つけ、保護者や学校運営連絡協議会委員に報告し、新年度の改善に生かしています。 最近では、子どもをどうやって育てていったらよいか具体的なことがわからない、また、自分の子どもが集団の中で不安がらないで過ごせるのか、といった不安を抱いている保護者が多いようです。このような情報は区の「教育支援館」の支援員のほか、教育委員会の研修会、区の幼稚園長会、保育園長会などから得ています。そういった中から、はしの使い方や排泄の習慣など育児の具体的な指導や日常の遊び方などの提供を地域の子育て支援活動として、「すくすくふれあいひろば」を始め、さまざまな活動の年間計画を立て実践しています。		

4	安全管理		カテゴリ4
	サブカテゴリ1		
	子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
	評価項目1 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる ※事故、感染症の発生時などの対応、防犯・防火等 評点(〇〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもの安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や施設内の役割分担を明示している	
	あり	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
あり	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、保護者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている		
あり	4. 地震などの自然災害に対する防災対策を施すなど、施設・設備を安全で適切な状態にしている		
あり	5. 不審者、外部からの侵入に対する対策がとられている		
あり	6. 急な病気や感染症に対しての取組の手順が明示されている		
カテゴリ4の講評			
当園は東園の上階に図書館があります。西園の上階には子どもクラブとさくら荘という2つの施設があり、合計4館の複合施設です。従って避難訓練や防犯訓練については、当園が中心となり4館合同で実施しています。避難訓練年間計画のもとに毎月行っています。消防訓練の際は、消防署の方から実際に指導を受け、防犯訓練については、警察署の方から不審者対応の訓練を受けたりしました。不審者対応については、さすまたやネットランチャー、ブザー、笛など防犯用のグッズを揃えています。 平成23年の大震災を教訓に自然災害に対する防災対策をより徹底させています。具体的には、「安全指導の年間計画」や「安全マニュアル」に基づいた指導や訓練を実施し、保護者には園だよりで伝えていきます。また、室内の防災対策として本箱や棚などの備品に対する転倒防止措置をしたり、窓ガラスや蛍光灯に飛散防止措置などを施したりしています。そのほか、園児には防災頭巾を常備しています。なお、緊急時、施設で待機せざるを得ないことに備えて、備蓄品を常備しています。 感染症については「感染症対策ガイドライン」「新型インフルエンザ対応マニュアル」にそって対応するようにしています。職員会議で、これら伝染性の病気に関する共通理解を図ったり、各保育室に対応マニュアルを常備し、いつでも見られるようになっています。今年度は特に「ノロウイルス」や「インフルエンザ」が広範囲に発生していますので、この対応について職員が周知徹底しています。また、発生した場合は全館のドアに掲示して保護者に知らせています。また、保護者への注意喚起のための手紙を作成して配付しています。			

カテゴリ5	
5	職員と組織の能力向上
サブカテゴリ1	
こども園が目指していることを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目1 園にとって必要な人材構成にしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. 園の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
あり	2. 園が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
あり	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
あり	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
あり	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている
あり	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
あり	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している

サブカテゴリ2		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	
あり	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	
あり	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	
評価項目2 職員一人ひとりのやる気向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 職員一人ひとりの取組を評価し、課題の発見や目標設定、研修や自己研鑽の計画に結びつけるなど、総合的な人材育成の視点を持ったくふうを行っている	
あり	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	
あり	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	
あり	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	

評価項目3 円滑なコミュニケーションを図り、組織として質の向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. 定期的な職員会議などを通して、話し合い、評価・反省を行い、次の保育に活かす体制がある	
あり	2. 自分の保育を他の職員に見てもらい、互いに検討しあう機会やしぐみをつくっている	
あり	3. 自園のテーマや重点項目等を決め、継続的に研究を行っている	
カテゴリ5の講評		
職員の評価においては、短時間保育の教諭は「自己申告」、長時間保育の保育士は「目標・成果シート」をそれぞれ記入し、年度初めに園長に提出するとともに面接をします。そして、話し合った結果、園長からの助言や指導のもとに期の途中で再度面接を実施し、それぞれの目標が達成されているか確認し、指導、助言をします。そして、年度末に最終的な面接を行い、次年度につなげます。園長はその際、「自己申告」や「目標・達成シート」をもとに業績評価を行っています。職員の業績評価は台東区の教育委員会で調整されるようになっています。 台東区のキャリア育成や経験年数に応じた研修体系が詳細に決められています。該当する職員はこの計画に沿って受講するようになっています。特に、新規採用の職員に関してはビジネスマナー研修を始め、フィールドワーク研修、保育士や幼稚園教諭の研修、救命講習などの計画が立てられています。このほか、当園は「園内研究年間計画」を立案し、年間のテーマを「心も体もたくましい子どもを育てる」とし、園内研究企画推進委員会(各学年1名ずつ、副園長、主任教諭、乳児フリー職員の8名で構成)を設置し、年間計画に基づいて推進しています。 園長、副園長、保育長の管理者層は、日常の職員の勤務状況を観察、把握して良好な教育・保育環境を培っていくように声かけやふれあいを図っています。また、「自己申告」「目標・達成シート」などについては正当な評価をし、努力していることを賞賛し、働きやすい環境を工夫しています。職員のアンケートからも、「チームワークがよい」「幼稚園教諭、保育士が互いにコミュニケーションを取り合って、連携が取れている」「職員同士が協力しあおうとする姿勢や課題に対してみんなで知恵を出し合い改善していこうとしている」などの声が見られました。		

7	カテゴリ7		
	情報の保護・共有		
	サブカテゴリ1		
	情報の保護・共有に取り組んでいる		
	評価項目1 こども園が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	あり	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
	あり	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
	あり	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
	評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目		
あり	1. 園で扱っている個人情報の利用目的を明示している		
あり	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		
あり	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		
あり	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取組を行っている		
カテゴリ7の講評			
当園には子どもたちや保護者のいろいろな情報が多数あります。これらの情報を守るために、紙ベースの書類は鍵のかかる金庫や書庫に保管しています。また、パソコン内の情報は暗号化されていますので、一般には見られないようになっています。なお、記憶媒体は副園長が責任者として保管しています。なお、各種文書は、保存年限に応じて保管していますが、保存年限のきれた書類は溶解処理に出すか、あるいは、シュレッダーにかけるかしています。 個人情報保護規程に則って全職員は周知しています。さらに、「こども園における情報の管理について」というマニュアルを作成し、徹底を図っています。そこには、こども園における情報の概要、情報の漏洩・消失、本園における情報の管理、消失・漏洩があった場合、保管場所、廃棄処分についての6項目で具体的に記述されています。これを全職員で読みあわせを行っています。なお、開示請求に関しては園独自ではなく区役所との協議になりますので、この手続きについて保護者にお知らせしておくといでしょう。 園内における写真の掲示やそのほか子どもたちが露出する場合がありますので保護者には、その旨の同意を得ています。実習生については、やはり当園で知り得た情報を園外に漏らさないよう、守秘義務の誓約書が他の書類とともに学校から送付されているか確認します。確認できないときには提出をお願いするといでしょう。一般のボランティアの方の場合は、オリエンテーションの際に、守秘義務の誓約書をとっておくことをお勧めします。			

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ8	
8	カテゴリ1～7に関する活動成果	
	サブカテゴリ1	
	前年度と比べ、こども園の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
	評価項目1	
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ4:「安全管理」	※改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	改善の成果 教育・保育の計画を作成し、理解を深めました	
	毎年、「教育・保育計画」を作成しています。この中には、「1歳児から5歳児までの教育・保育計画のポイント」、「3歳児・4歳児・5歳児(重点的ねらいと内容)」、「教育・保育計画(各年齢4期から5期に区分、区分ごとに遊びや歌、絵本、リズムなどの保育資料添付)」、「参考資料」などがまとめられています。なお、今年度新たに作成した「石浜橋場こども園の教育・保育」では、今年度の保育の内容の全体像がつかめるとともに、子育て支援事業の全貌も把握できます。今年度新たに勤務する職員(正規、非常勤、臨時)が多かったので、お互いの意思疎通を図るうえでも有効な手段となりました。	
	サブカテゴリ2	
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
	評価項目1	
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」	※改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	改善の成果 一人1回、他園の研究保育を見に行くようにしました	
	当園を含めて台東区の職員研修計画は十分に整っています。また、園内研究企画推進委員会を設置して「園内研究年間計画」を策定し、今年度は「心も体もたくましい子どもを育てる」をテーマに実施してきました。このように職員の質の向上を図る取り組みをしてきましたが、今年度はさらに、年度内に一人1回は他園の研究保育を見に行くように計画を立てました。他の保育者の保育を見学したり、研究発表を聞いたりすることで、自分の保育を振り返ることができ、新たな環境設定や援助の方法を発見する機会になっています。そして、最終的には、自園の保育に生かされています。	
	前年度と比べ、サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
	評価項目1	
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」	※改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
	改善の成果 一月に1回、ホームページを更新しました	
	ホームページの更新を計画的に実施するのはなかなか難しいことですが、地域の子育て中の親子は、ホームページで園の情報を収集していますので、できるだけ最新の情報を載せる必要があります。そこで、今年は月1回更新することを決め、実行してきました。結果として、見学や視察の申し込みが昨年より増えています。このほか、保護者にはクラスのボードに今日の出来事を文字だけでなく写真を多用するようにしています。それにより、子どものようすをよりわかりやすく伝えることができ、家庭での親子の会話が増えてきているとのことでした。	

サブカテゴリ4	
前年度と比べ、保護者の満足や意向の把握等の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー3:「保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画」	※改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
改善の成果 苦情の受付担当者を繰り返し保護者に伝えました 保護者の要望や苦情について、苦情受け付けのしくみはありますが、受け付けの窓口がなかなか周知されていませんでした。そこで今年は、受付の窓口は副園長であることを繰り返し伝えました。その結果、保護者からの問合せや相談がより多くなるようになるとともに、子育ての悩みや相談も気軽に聞きにくるようになり、早めに悩みが解消されるようになりました。また、行事に対する苦情や園に対する要望をアンケートで書いた保護者と懇談する機会を持ちました。それまでは苦情や不満ばかりでしたが、話し合いを持ったことで園に対して理解を持つようになり協力的になりました。	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～4、6-6～7)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	
	評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している	
	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	あり	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	あり	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	あり	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	サブカテゴリ1の講評	
	利用希望者には「要覧」「園児募集案内」などの印刷物を用意しています。要覧には教育・保育目標、園の沿革、学級人数、乳児・幼児別の1日の生活の流れ、年間行事予定、園舎・園庭案内などを掲載しています。園児募集案内には、さらに保育・教育の実施内容、申込方法、料金など将来の利用者が必要とする情報を詳しく掲載しています。また、園独自のホームページを開設して、こども園の解説や施設紹介、PTA活動、クラス紹介、園だより、子育て支援などの情報を発信し、日頃の子どもの活動も写真を使って具体的に伝えています。 園情報は区のホームページにも掲載されています。園児募集案内は、園以外に区役所でも入手することができます。また要覧については、区内の小・中学校や児童館、視察に訪れた見学者にも配付しています。 利用希望者の問合せや見学希望者には、副園長もしくは保育長が対応しています。見学は、保護者の都合を聞きながら、できるだけ園児の活動の様子を見てもらえる時間帯に設定しています。問い合わせをしてきた方には、園が実施している子育て支援事業「すくすくふれあいひろば」や「なかよし会」なども紹介して参加のお誘いをし、参加時に見学を設定することもあります。見学者には要覧を配付しています。	

サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
あり	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
あり	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
あり	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
あり	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
あり	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	
サブカテゴリ2の講評		
入園にあたっての基本的なルールやこども園が幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設であることなどの重要事項を明記した「確認票」が用意されています。確認票はチェック方式になっており、保護者は入園申込時に内容を確認して署名の上、区もしくは園に提出しています。日本語が母国語でない保護者の場合には英語が得意な職員が対応し必要事項を説明する体制にあります。その他の言語の場合は、必要に応じて通訳ボランティアを依頼することも可能です。 入園内定後には入園説明会を実施し「入園のしおり」「健康のしおり」を配付して園生活での注意点などを保護者に伝えています。また入園時に実施する面接、健康診断では、保護者記入の「お子さんの健康状況について」「1日の食事調査票」「家庭状況」などの書類を参照しながら、子どもの生育歴や既往歴、健康・アレルギー状況、食事の状況などについて個別に状況を確認しています。面接時には、遊びのコーナーを設けて子どもの様子も観察し、集団生活への適応性や個別の配慮点などを見極めていきます。 利用開始直後は、1時間からの慣れ保育を実施し、保護者の意向を確認しながら子どもに無理がないように日数をかけて徐々に保育時間を延ばしていくように配慮しています。慣れ保育の設定は一律ではなく、入園前の生活状況や日々の子どもの様子を見ながら保護者と相談して個別に設定しています。自宅近くの園への転園や保護者の仕事、引越などの理由で退園する際には、転出先の園や関係機関などから請求があれば、保護者の同意のもと必要な情報提供を行い、支援の継続性に配慮しています。		

サブカテゴリ3		
3	計画の策定と着実な行動	
評価項目1 こども園としての教育課程・保育計画は、理念・基本方針に基づき策定されている 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 教育課程もしくは保育計画の策定にあたっては、全職員がかかわっている	
あり	2. 教育・保育の基本方針や地域の実態を踏まえて策定している	
あり	3. 就労状況など保護者の実情を考慮して策定している	
あり	4. 教育課程もしくは保育計画は入園時や年度当初、改定時に保護者に説明している	
評価項目2 子どもの発達や状況に応じた指導計画を策定している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 年齢ごとに指導計画を作成している	
あり	2. 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている	
あり	3. 評価・改訂にあたっては、複数の職員が参画している	
あり	4. 評価・改訂にあたっては、保護者の意向も反映している	
サブカテゴリ3の講評		
年間計画「教育・保育計画」は、年度末に当年度の計画をベースに各クラスで次年度に向けて改定案を募り、主任が取りまとめた上で企画会議や全職員参加の職員会議で検討をしています。最終的に副園長と園長が内容を確認して次年度の教育・保育計画が確定します。3～5歳児の短時間・長時間保育共通の教育時間帯「おひさまタイム」の計画立案にあたっては、子どもの実態に合わせて1年を5期に分け、区教育委員会が幼児期から小学1年生までの接続期を考慮して作成した幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」を参考に内容の充実を図っています。 園の周辺には大きな公園や土手など自然に触れることができる散歩コースが豊富にあり、乳児クラスはほぼ毎日散歩にでかけています。仕事の忙しい保護者に代わって、体を使った日常的な外遊びを多く取り入れ、「心も体もたくましい子どもを育てる」という教育・保育目標の実践につなげています。また、教育時間帯以外にも「おはようタイム」「すやすやタイム」「ゆうやけタイム」など時間帯別計画も各年齢ごとに立案し、一日を通して計画的な保育を提供しています。教育・保育計画は年度初めのクラス懇談会などで保護者にも説明しています。 1～2歳児については個別月間指導計画を立案し、3～5歳児は学期ごとに年3回見直しをしながら、クラス別学級経営案を作成しています。加えて、全年齢でクラスごとに週日指導計画を作成し、個人別配慮についても記載しています。全ての指導計画および学級経営案書式には、評価・反省欄が設けられ、計画の振り返り、評価が計画と一体的に行われるしくみとなっています。担任が立案した乳児の月間指導計画は、保育長と園長が、幼児の週日案については副園長と園長がそれぞれ内容を確認し、助言をしています。		

サブカテゴリ4		
4	個別状況に応じた計画策定・記録	
評価項目1 必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	
あり	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	
あり	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	
評価項目2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	
あり	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	
あり	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	
あり	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	
あり	5. 障害の特性を考慮した個別の指導計画を作成している	
あり	6. 3歳児未満については、個別の計画を作成している ※ただし3～5歳児対象の園は非該当	
評価項目3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	
あり	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	

評価項目4		評点(〇〇)
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		
評価	標準項目	
あり	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	
あり	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	
サブカテゴリ4の講評		
学級経営案に学級全体の実態を記す項目を設け、家庭環境と地域の実態などについて把握しています。子どもや家庭の状況は「児童票」「認定こども園こども要録」「保健調査票」に記録しています。個別の課題については個人面談や日頃の連絡帳および口頭でのやり取りにより保護者から収集した情報をもとに、朝会や職員会議などで報告し合い、職員間で課題分析をした上で方針を検討しています。計画の方向性については保護者に相談、確認して連携しています。緊急に計画変更が必要な場合には、臨時企画会議を招集し検討する体制にあります。 1～2歳児クラスでは、保育日誌に個別記録を残すとともに保育の評価、反省をしています。また年4回、児童票内の「発達及び経過記録」に子どもの発達経過をまとめ確認しています。3～5歳児クラスでは、毎日クラスごとに記録を作成し、子どもの好きな遊びや人のかかわり、学級全体の活動、個人別配慮などについて記し、日別に保育の評価、反省をしています。学期ごとに年3回、学級経営案の見直しや子ども一人ひとりの目標を設定する際にはこれらの記録と反省を反映させ、年度末には子どもの姿を「認定こども園こども要録」にまとめています。 1～2歳児では個別月間指導計画を立案し、3～5歳児では学級経営案の中で、学期ごとに年3回「子ども一人一人の目標」を設定し個別計画と位置づけています。特別な配慮を要する子どもについても他の子どもと同様に年3回、個別目標を設定しています。配慮を要する子どもについては、個別支援記録を毎日作成し、体調や機嫌、食事、排泄、遊び、人のかかわりなどについて経過を観察しています。今後は、配慮を要する子どもについては、独立した個別の計画を書式化し、その計画書を職員間で共有して支援していくとよいでしょう。		
サブカテゴリ6		
6	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
評価項目1		
子どものプライバシー保護を徹底している		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	
あり	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
あり	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
あり	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている

評価項目3

障害児を受け入れるにあたり、保育内容の配慮を行っている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 医療機関や専門機関と連携して、相談・指導・助言を得る体制がある
あり	2. 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができている
あり	3. 障害児と障害のない子どもとのかかわりに配慮している

サブカテゴリ6の講評

個人情報の取り扱いについては入園後の保護者会で口頭で説明をしています。園のホームページで写真を使用することを説明し、写真使用に同意しない方は申し出てもらうように伝えています。また保護者同意のもと作成している保護者連絡網や各クラスの顔写真入り印刷物には「取扱注意」の文言を明記して配付しています。子どもを叱る際には一人の子どもばかりを叱るとほかの子どもにも影響があるので、クラス全体に投げかけたり、おもしろしてしまった場合はほかの子どもから見えない場所で着替えるなど子どもの羞恥心にも配慮しています。

台東区では人権教育に力を入れており、園の教育目標にも人権尊重の精神を基調とした保育が冒頭に掲げられています。職員は人権尊重研修会に参加して意識の向上を図っています。子どもの気持ちを傷つけるような不適切な言動が職員に見られた場合には、他の職員から注意をしたり、園長や副園長、保育長から指導をする体制にあります。また、日誌などを園長が確認した際、対応に疑問があれば、職員に確認し、指導をしています。宗教的信条により人前で衣服が脱げないなど、性別、国籍などに関わらず、個人の価値観を尊重した保育を実践しています。

嘱託医や療育専門機関とは、保護者同意のもと、巡回訪問指導や相談、助言を受ける体制にあります。特別支援コーディネーターや特別支援担当職員を中心に、巡回訪問指導の計画を立てたり、指導内容を報告し合ったりしています。また、園内研修として特別支援教育について非常勤職員を含めて研修を行っています。障がいのある子どもとのかかわりについては、クラスの一員として一人ひとりを大切に「〇〇ちゃんも、あとから来るよ」と仲間を意識させる声かけをすることで、ほかの子どもたちも自発的にかかわりが持てるように配慮しています。

サブカテゴリ7		
7	こども園業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、こども園業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(0000)		
評価	標準項目	
あり	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、園が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	
あり	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	
あり	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	
あり	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(000)		
評価	標準項目	
あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	
あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	
あり	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	

評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	
あり	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	
あり	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	
あり	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	
あり	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	
サブカテゴリ7の講評		
危機管理ファイルに消防計画、避難訓練計画表、個人情報管理、衛生マニュアル、感染症対策、食物アレルギー対応などのマニュアルが一括してまとめられています。さらに、安全点検表、日直点検表、給食日誌(給食室点検表)などにより、マニュアル通りの業務が行われているかの安全確認も定期的に行われています。主要なマニュアルは職員ハンドブック「石浜橋場の教育保育」にまとめて全職員に配付しています。マニュアルは年度末に各担当職員が内容の見直しをして、年度始めに新任職員も含めて読み合わせをして職員間で共有しています。 避難訓練では、緊急時にマニュアルを参照している余裕はないことを前提に「自分の頭で考えて動く」ことを訓練の中で実践しています。その取り組みの過程でマニュアルにない必要事項に職員が気付いた際には、すぐに退避用のおんぶ紐を揃えたり、次にはおぶって退避する実地訓練を行うなど、マニュアルに新たな視点を加えつつ、より訓練の実効性を高めるよう取り組んでいます。 年度末に保護者に教育保育活動アンケートを行い、その結果を年度経営計画の達成度として評点化し、園全体の業務水準を振り返り自己評価をしています。また「乳幼児期にふさわしい環境を考える」などの園内研究に計画的に時間をかけて取り組み、区外の研究発表会に参加する水準にまで内容を高めています。園内研修を計画的に実施するほか、日常的に経験豊かな職員が若い職員を指導育成していく体制があります。教育委員会の指導支援員や大学教授の指導による研究保育、園長経験者による新任職員指導など、外部からの指導を受ける体制も整っています。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-5)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている			評点(○○○○○○)
	評価	標準項目		
	あり	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		
	あり	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている		
	あり	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している		
	あり	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている		
	あり	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している		
	あり	6. 異年齢保育を効果的に取り入れている		
評価項目1の講評 毎月の第2回目の職員会議で子ども一人ひとりを把握しています。朝会や週案打ち合わせでは園庭や室内あそびの時間と場所の調整をし、子どもたちが満足するまで気に入った遊びができるようにしています。日々の生活の中で覚えたりリズム遊びや歌などを地域行事の中で発表する機会もあります。5歳児が1～2歳児の午睡のお手伝いをしたり、避難訓練で5歳児と3歳児が手をつないで避難したりと異年齢で関わるようにしています。また、障がいがあっても外国籍であってもクラスの一員として互いを尊重しながら、ともに育つような支援や配慮をしています。				
2	評価項目2 幼稚園と保育園の機能が一体的に提供されている			評点(○○○○)
	評価	標準項目		
	あり	1. 幼稚園枠で入園した子どもと保育園枠で入園した子ども同士が、区別なく教育・保育を受ける工夫がされている		
	あり	2. 登園時間、降園時間の違いなどにかかわらず、集団としての教育・保育を実施している		
	あり	3. 幼稚園利用の保護者と保育園利用の保護者の交流に努めている		
あり	4. 保護者の就労の有無や形態にかかわらず、それぞれの機能が必要に応じて提供されている			
評価項目2の講評 3～5歳児は短時間児も長時間児も9時～14時まで「おひさまタイム」として、同じカリキュラムで教育・保育を受けています。親子遠足や土曜参観、運動会などの行事を通して、保護者同士の交流がより図れるように、クラスごとに色分けした名札を付けて参加するなどの工夫もしています。バザーや夏祭りなどのPTA活動のお手伝いも、短時間児の保護者だけでなく、長時間児の保護者も自分ができる時間帯で参加して協力しています。また、PTA役員会や行事準備など夕方の時間を設定して、双方が参加しやすくなるように工夫しています。				

3	評価項目3 適切な教育・保育環境を整えている		評点(〇〇〇〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 全身を使って活動する事ができる環境を整えている	
	あり	2. 人と関わる力が育つよう配慮している	
	あり	3. さまざまな活動や体験をするのに適切な環境を整えている	
	あり	4. 身近な自然や社会とかかわる事ができるよう配慮している	
	あり	5. 伝え合う喜びを味わったり、言葉に対する感覚が養われたりするよう配慮している	
	あり	6. 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境を工夫している	
	あり	7. さまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている	
	あり	8. 日常の保育の中で、文字・言葉や数量・図形などが、遊びとして無理なく自然にとりいれている	
	評価項目3の講評		
	「心も体もたくましい子どもを育てる」を研究テーマに、子どもが自発的に体を動かせる環境構成に取り組んでいます。1歳児は手足を十分に動かす、2歳児は三輪車乗り、3歳児は巧技台遊び、4歳児は鬼遊び、5歳児は運動能力測定に視点をおく遊びなど、発達に応じた経験が出来るように工夫しています。またうさぎや蚕の世話したり、小さな種などに感動したりするなど身近な自然にふれる機会も多くあります。さらに日々の生活の中で友達と関わる力や自分を表現すること、文字や数などに関心を持ちながら遊ぶ体験なども取り入れています。		

4	評価項目4 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している			評点(〇〇〇〇〇)・非該当1
	評価	標準項目		
	あり	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		
	あり	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している		
	あり	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している		
	あり	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている		
	あり	5. 適温給食を心がけている		
		6. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている		
	評価項目4の講評 給食は、区立保育園と同じ2サイクルの献立を利用しています。栄養士は初回の子どもの喫食状況を見て、2回目は味付けや切り方を変えるなど、子どもがよりおいしく食べられるよう工夫しています。また、担任は年齢に応じた机やイスをセッティングして落ち着いて食べられるようになっています。除去食が必要な場合は、保護者、担任、栄養士が医師の診断票と献立表をもとに話し合い、園長が確認しています。提供時も間違いのないよう何重にもチェックしています。栄養士は担任と連携して個々の食事量に合わせた盛り付けや適温の給食を提供しています。			
5	評価項目5 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている			評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している		
	あり	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある		
	あり	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している		
	あり	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている		
		評価項目5の講評 春秋の定期健康診断、歯科検診、ぎょう虫検査、尿検査、毎月の身体測定を実施し記録しています。結果は健康カードで保護者にも知らせています。医療的なケアが必要な場合は、園医や保護者と連携して対応する体制があります。感染症が発症した時は掲示物や手紙で速やかに保護者に知らせ、注意を促しています。子どもが触る床や手すり、蛇口は日々、おもちゃは週末に消毒液での清掃をしています。感染症発生時にも同様に行っています。乳幼児突然死症候群(SIDS)への対応としては、午睡時の睡眠チェック表で確認し、予防に努めています。		

6	評価項目6 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている			評点(〇〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 子どもがこども園の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)		
	あり	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている(清潔さ、採光、換気、照明等)		
	あり	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている		
	評価項目6の講評			
	1～3歳児はクラスごとに、4～5歳児は合同で誕生会をしています。誕生月の子どもの保護者も参加して行われ、子どもたちの出し物のほかに、園長が手品やわらべ歌、伝承遊びなどを披露しています。子どもの日や七夕、豆まきなどいろいろな行事がありますが、冬のお楽しみ会では職員の劇や合奏を行い、行事をさらに楽しいものにしています。午睡時は温度や換気、明るさに配慮し、眠れない子には静かに体を休められるような工夫をしています。なお、5歳児は就学に向けて家庭と連携を取りながら徐々に午睡をなくしています。			
7	評価項目7 こども園と家庭との交流・連携を緊密に行っている			評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある		
	あり	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どものこども園での生活ぶりを家庭に紹介している		
	あり	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている		
	あり	4. 幼稚園利用の保護者、保育園利用の保護者がともに施設の行事などに参加しやすい工夫を行っている		
	あり	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている		
	評価項目7の講評			
	1～2歳児は保護者が保育に参加し、いっしょに過ごす保育参加があります。3～5歳児は年3回の参観ウイークの期間を設けています。また希望があればいつでも参観や子育て相談に応じています。月々の園だよりには各クラスの取り組みのようすも載せています。3～5歳児は玄関のボードに毎日のようすや写真を掲示して園での生活を伝えています。年度初めの懇談会は全保護者が参加できるように数回に分けて実施しました。保護者が行事に参加しやすいように年間行事予定を年度初めに配付し、運動会や子ども会など大きな行事は土曜日に設定しています。			

8	評価項目8 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている			評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目			
	あり	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている			
	あり	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている			
	あり	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている			
	あり	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている			
	評価項目8の講評 研修会の報告や手引き書を基に全職員が共通理解して、子どもの変化を機敏に感じとり、虐待の早期発見と適切な対応に努めています。虐待を受けている疑いのある場合は園長に報告し、園長が判断したうえで子ども家庭支援センターに通告します。その後は各関係機関と連携を取り合って支援する体制が整っています。園では子どもの発達や育児などについて、保護者と共通認識が持てるようにしています。保護者が参加しやすい土曜日に保育参観と併せて講演会を行っており、今年は「父親を子育てに巻き込もう」という内容で研修を行いました。				
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている				評点(〇〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目			
	あり	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している			
	あり	2. こども園の活動や行事に地域の方の参加を呼びかける、地域の行事や園活動に参加できるよう配慮する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している			
	あり	3. 地域の文化・レクリエーション施設等を利用している			
	あり	4. 他の園や福祉施設等との交流を図っている			
	あり	5. 地域の町会やボランティア団体、高齢者クラブ等の活動に子どもたちが参加できないか相談するなど、積極的な交流に向けて取り組んでいる			
	あり	6. 地域の人たちと接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている			
	評価項目9の講評 運動会や夏祭り、餅つきなど園の行事に地域の方を招待したり、地域の方が園のお茶会を手伝ってくれたりしています。子どもたちが高齢者施設を訪問してリズム遊びを一緒に楽しんだり、地域のお祭りに参加してダンスを披露するなど、地域との交流の機会があります。また、「あいさつ運動」を実施しており、あいさつ週間を設けたり、子どもたちが図書館などに出かけるときや、散歩したりするときには率先して地域の方と挨拶を交わしたりしています。なお、家族で地域行事に参加できるように、お祭りや盆踊りなど地区の催し物の予定を知らせています。				

10	評価項目10 地域のニーズに対応した子育て支援事業を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 未就園児が親子で登園する日を設けている		
	あり	2. 在園児のほか地域の保護者から教育・保育に関する相談を受け入れている		
	あり	3. 保護者のニーズに対応した預かり保育を実施している		
	あり	4. 一時保育を実施している		
	あり	5. その他、多様な子育て支援事業を実施している		
	評価項目10の講評			
	未就園児の親子向けの支援事業として、「なかよし会」や乳児クラスでいっしょに過ごす「すくすくタイム」、仲間づくりの場としての「すくすくふれあいひろば」があります。それぞれ月1～2回行われ、「すくすくタイム」では試食会があり、アレルギー食にも対応しています。子育て相談や授乳やおむつ交換の場としての「赤ちゃんの駅」も設けています。一時保育はクラスに空きがあるときに実施しています。短時間児には保護者のニーズに合わせて預かり保育を行っています。また、幼児教育時間終了後から1時間園庭開放も実施しています。			
11	評価項目11 小学校との連携を行っている			評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 小学校の教育内容について理解するための取組を行っている		
	あり	2. 卒園した子どもの情報を得るように努めている		
	あり	3. 地域の小学校の行事への参加等、交流活動に取り組んでいる		
	あり	4. 認定こども園こども要録を適正に記録し、小学校に送っている		
	評価項目11の講評			
	教育委員会は、幼稚園、保育園、小学校、中学校との「連携の日」を設け、授業・保育参観や協議会・情報交換などを行っています。また、相互に行事への招待もあり、園長はじめ、職員、PTAも参加し相互理解に努めています。学校の参観や行事に参加したり、修了児を夏祭りなどの園行事に招待する中で、修了した子どもたちの成長を見守っています。子ども同士も、5歳児が小学1年生の授業を体験したり、5年生と一緒に遊んだりする機会があります。なお、幼児クラスでの成長を記録した、認定こども園こども要録の写しを小学校に送付しています。			

調査対象	認定こども園を利用している世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹の居る世帯は1世帯として扱いました。利用者総数に対する回答者割合は52.2%でした。
調査方法	アンケート調査は無記名方式とし、配付は園を通じて保護者へ手渡しし、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方式としました。調査結果については選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、園に報告しました。
利用者総数(人)	113
調査対象者数(人)	113
有効回答数(人)	59
利用者総数に対する回答者割合(%)	52.2%

利用者調査全体のコメント

こども園に対する総合的な感想は、「大変満足」が9人(15.3%)、「満足」が36人(61.0%)で「満足」以上の回答は合計45人(76.3%)でした。 自由意見には「さまざまな年代のお友だちとコミュニケーションをとりながら、一緒に成長できることが子どもにとっても良いと思います。子どもも毎朝『はやく行こう』と喜んで通っています」「先生方が夜遅くまで働いている姿を見ていろいろと頑張っているんだなあと思っています」など、園への感謝の声などが見られます。 質問別に見ると「担当の職員はお子さんの良い所や個性を認めていますか」で96.6%、また「いろいろな体験や遊びを通して、遊びへの意欲や主体的な態度が育っていますか」「園は地域と協力して交通安全、地震・火災、防犯などについて安全を高める努力をしていますか」他7つの質問でもいずれも90.0%の保護者が「はい」と回答し、満足度が高い様子が読み取れます。 また、「要望や不満は、園に対して言いやすいですか」については、「はい」の回答が23.7%とやや低くなっています。
--

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
1. 献立表やサンプル表示で、毎日の食事の内容が分かるようになっていますか	58	1	0	0
「はい」が98.3%、「どちらともいえない」が1.7%でした。 自由意見には、「食材の産地の明記を希望します」という声がありました。				
2. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	50	6	1	2
「はい」が84.7%、「どちらともいえない」が10.2%、「いいえ」が1.7%、「無回答」が3.4%でした。 自由意見には、「メニューの工夫された内容も書かれているので、参考になります」などの声がありました。				
3. アレルギーの対応について説明を受けましたか	33	8	10	8
「はい」が55.9%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が16.9%、「無回答」が13.6%でした。 自由意見には、「アレルギーについてとても丁寧に説明がありました」などの声がありました。				

4. 子どもの成長に大切な社会体験や自然体験などの体験ができるようにしていますか	55	2	0	2
「はい」が93.2%、「どちらともいえない」が3.4%、「無回答」が3.4%でした。 自由意見には、「植物の栽培や人、自然、動物との関わりなど、いろいろな経験をさせてもらっています」などの声がありました。				
5. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	27	16	8	8
「はい」が45.8%、「どちらともいえない」が27.1%、「いいえ」が13.6%、「無回答」が13.6%でした。 自由意見には、対応について柔軟性を求める声などがありました。				
6. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡などの体調変化への対応は十分ですか	39	15	3	2
「はい」が66.1%、「どちらともいえない」が25.4%、「いいえ」が5.1%、「無回答」が3.4%でした。 自由意見には、「体調変化についての連絡は迅速だが、保護者の状況への配慮もしてほしい」といった声がありました。				
7. 安全対策が十分取られていると思いますか	40	17	2	0
「はい」が67.8%、「どちらともいえない」が28.8%、「いいえ」3.4%でした。 自由意見には、「先生の目が行き届いてない時があるのでは」といった声がありました。				
8. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	32	19	7	1
「はい」が54.2%、「どちらともいえない」が32.2%、「いいえ」が11.9%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「保護者参加の行事にはより一層の配慮がほしい」などの意見がありました。				
9. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員一人ひとりと話したり相談する事ができますか	47	11	0	1
「はい」が79.7%、「どちらともいえない」が18.6%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見は、ありませんでした。				
10. 登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか	42	13	4	0
「はい」が71.2%、「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が6.8%でした。 自由意見は、ありませんでした。				

11. 園からのたよりやその他の方法で、教育・保育内容や日々のお子さんの様子や気持ちを知ることができますか	39	15	5	0
「はい」が66.1%、「どちらともいえない」が25.4%、「いいえ」が8.5%でした。 自由意見には、「園だよりでクラスの様子や教育目標はよくわかる」「園での様子はわかるが気持ちまでは難しい」などの声がありました。				
12. 保護者が大切に考えている事について、職員は話を聞く姿勢がありますか	44	13	1	1
「はい」が74.6%、「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が1.7%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「人数が多いため、実際は話さきれないこともあると思う」などの声がありました。				
13. お子さんの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・あそびなどが行われていますか	49	8	1	1
「はい」が83.1%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が1.7%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見は、ありませんでした。				
14. お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていますか	46	12	1	0
「はい」が78.0%、「どちらともいえない」が20.3%、「いいえ」が10.7%でした。 自由意見には、「季節ごとの遊びが用意してあると思います」などの声がありました。				
15. お子さんの発育や意欲を促すような図書・絵本があることを知っていますか	50	7	1	1
「はい」が84.7%、「どちらともいえない」が11.9%、「いいえ」が1.7%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「絵本の貸し出しがあり、子どもも楽しみにしています」などの声がありました。				
16. 集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか	51	6	2	0
「はい」が86.4%、「どちらともいえない」が10.2%、「いいえ」が3.4%でした。 自由意見には、「してはいけないことや相手を思いやる気持ちなど、教えてくださる先生の姿をよく見かけます」などの声がありました。 なかには、「子どもの個性を大切にすることにやや傾いている」といった意見もありました。				
17. あいさつや自分のことは自分でするなど、基本的生活習慣が身に付くように指導していますか	52	6	1	0
「はい」が88.1%、「どちらともいえない」が10.2%、「いいえ」が1.7%でした。 自由意見は、ありませんでした。				

18. 園の行事は子どもにとって楽しいものであり、子どもの成長に役立っていると思いますか	51	6	1	1
「はい」が86.4%、「どちらともいえない」が10.2%、「いいえ」が1.7%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「子どものための行事という観点での検討を望む」という意見がありました。				
19. お子さんが生活するところは落ち着いて過ごせる雰囲気ですか	44	11	2	2
「はい」が74.6%、「どちらともいえない」が18.6%、「いいえ」が3.4%、「無回答」が3.4%でした。 自由意見には、「子どもたちはそれぞれ自分の好きなことを見つけています」などの声がありました。				
20. 保育参観や参加、保護者会は有意義なものとなっていますか	33	22	3	1
「はい」が55.9%、「どちらともいえない」が37.3%、「いいえ」が5.1%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「保育参観は時間的に難しい時が多い」や、「保育参加は良いが、保護者会は毎回内容が同じで変わらない」といった声もありました。				
21. 施設内で感染症（インフルエンザ、風疹、とびひ、おたふく風邪など）が発生した際には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか	36	14	7	2
「はい」が61.0%、「どちらともいえない」が23.7%、「いいえ」が11.9%、「無回答」が3.4%でした。 自由意見には、「連絡が少し遅いようにも思われる」「いつも黒板を自分で確認しないといけないので、一言連絡があると意識が強くなると思う」といった意見もありました。				
22. 園は地域と協力して交通安全、地震・火災、防犯などについて安全を高める努力をしていますか	54	5	0	0
「はい」が91.5%、「どちらともいえない」が8.5%でした。 自由意見には、「区立なので近くの図書館や老人福祉館などへも避難訓練をしている」などの声がありました。				
23. 行事などを通して、地域住民との交流を図っていると思いますか	43	13	0	3
「はい」が72.9%、「どちらともいえない」が22.0%、「無回答」が5.1%でした。 自由意見には、「行事を通して地域の方の参加があり、道でお会いした時など子どもも一年通してあいさつしています」などの声がありました。				
24. 職員はあなたや子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	47	8	0	4
「はい」が79.7%、「どちらともいえない」が13.6%、「無回答」が6.8%でした。 自由意見には、「具体的なところはわからない」といった意見がありました。				

25. お子さんは園で大切にされていると思いますか	56	3	0	0
「はい」が94.9%、「どちらともいえない」が5.1%でした。 自由意見には、「子どもが『先生～』と走って抱きつく姿を見ると、大切にされているなど実感します」などの声がありました。				
26. 担当の職員はお子さんの良い所や個性を認めていますか	57	2	0	0
「はい」が96.6%、「どちらともいえない」が3.4%でした。 自由意見には、「そう思っている」となどの声がありました。				
27. 園での苦情窓口を知っていますか	41	5	13	0
「はい」が69.5%、「どちらともいえない」が8.5%、「いいえ」が22.0%でした。 自由意見には、「担任の先生にも、意見は伝えやすい」「担当者の先生が、ご自身で苦情窓口と言っています」などの声がありました。				
28. 要望や不満は、園に対して言いやすいですか	14	29	13	3
「はい」が23.7%、「どちらともいえない」が49.2%、「いいえ」が22.0%、「無回答」が5.1%でした。 自由意見には、「職員の方々が忙しそうで、なかなか声をかけるタイミングがない」「園の方針を理解しての入園だと思うので、要望や不満は言いづらいのでは？」といった意見もありました。				
29. 園は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	22	25	6	6
「はい」が37.3%、「どちらともいえない」が42.4%、「いいえ」が10.2%、「無回答」が10.2%でした。 自由意見には、「とてもよく対応してくれてますし、きちんと説明もあります」などの声がありました。				
30. 要望や不満があったとき、第三者委員（外部の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	10	5	43	1
「はい」が16.9%、「どちらともいえない」が8.5%、「いいえ」が72.9%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「知らなかったのでこれから調べてみたい」といった声がありました。				
31. 園運営の基本的な考え方（理念・方針）を知っていますか	39	14	5	1
「はい」が66.1%、「どちらともいえない」が23.7%、「いいえ」が8.5%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「知ってはいるが、具体的に何がされるのかはわかりにくい」などの声がありました。				

【31. に「はい」と答えた方】 32. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)には納得していますか	36	3	0	0
この質問は、回答者を限定したものです。「31. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)を知っていますか」の質問に「はい」と回答した家庭が39世帯あり、その中で、「はい」が92.3%、「どちらともいえない」が7.7%でした。 自由意見には、「全てに納得できるとはいえないが、総合的に見て納得している」などの声がありました。				
【31. に「はい」と答えた方】 33. 日頃の保育サービスは、職員の行動などにより園運営の基本的な考え方(理念・方針)と一致していますか	32	4	0	3
この質問は、回答者を限定したものです。「31. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)を知っていますか」の質問に「はい」と回答した家庭が39世帯あり、その中で、「はい」が82.1%、「どちらともいえない」が10.3%、「無回答」が7.7%でした。 自由意見には、「担任の先生によってクラスの雰囲気が異なると感じた」といった声がありました。				
34. 入園に際し園から受けた説明は、わかりやすかったですか	39	15	4	1
「はい」が66.1%、「どちらともいえない」が25.4%、「いいえ」が6.8%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「話は理解できてても、実際どんな感じになるのかはわからなかった」などの声がありました。				
35. あなたは入園の前に施設を見学しましたか	46	1	12	0
「はい」が78.0%、「どちらともいえない」が1.7%、「いいえ」が20.3%でした。 自由意見には、「見学しました」「運動会を見学した」などの声がありました。				
【35.の質問に「はい」と答えた方に】 36. 問合せまたは見学の際、快く対応してくれましたか	45	0	0	1
この質問は、回答者を限定したものです。「35. あなたは入園の前に施設を見学しましたか」の質問に「はい」と回答した家庭が46世帯あり、その中で、「はい」が97.8%、「無回答」が2.2%でした。 自由意見には、「名前を覚えていてくれた」などの声がありました。				
37. いろいろな体験や遊びを通して、遊びへの意欲や主体的な態度が育っていますか	56	3	0	0
「はい」が94.9%、「どちらともいえない」が5.1%でした。 自由意見は、ありませんでした。				
38. 園児は登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか	49	10	0	0
「はい」が83.1%、「どちらともいえない」が16.9%でした。 自由意見には、「行くと楽しそうにしているが、登園時には進んで行きたがる日ばかりではない」といった声がありました。				

39. この施設は、幼児教育や預かり保育などの幼稚園機能、生活の場として特性を活かした教育や細やかな養護を行う保育所機能、それぞれの長所が共に生かされた施設だと思いますか	33	23	2	1
「はい」が55.9%、「どちらともいえない」が39.0%、「いいえ」が3.4%、「無回答」が1.7%でした。 自由意見には、「幼稚園としての機能に元々満足していたので、保育所機能がどう活かされているのか、あまりよくわからない」「幼児教育、保育どちらも中途半端になっている」などの意見がありました。				
40. この施設のように幼稚園と保育園の機能を一体的に提供する認定こども園が増えると良いと思いますか	34	17	8	0
「はい」が57.6%、「どちらともいえない」が28.8%、「いいえ」が13.6%でした。 自由意見には、「こども園は、とても良い制度だと思うのでもっと増設してほしい」「幼稚園と保育園児で教育の機会に差があるのであれば、ゆるやかにでも認定こども園を増やして差をなくしていくべきだと思う」などの声がありました。なかには、「もっと機能的に柔軟性があると良いと思う」といった意見もありました。				

Ⅱ. 保護者アンケート調査結果

第三者評価利用者（在園児保護者用）アンケート調査結果

◇石浜橋場こども園

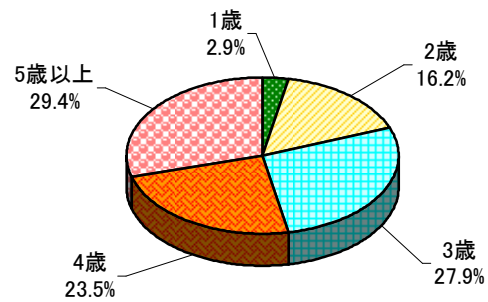
利用者総数
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

113 人
113 人
59 人
52.2%

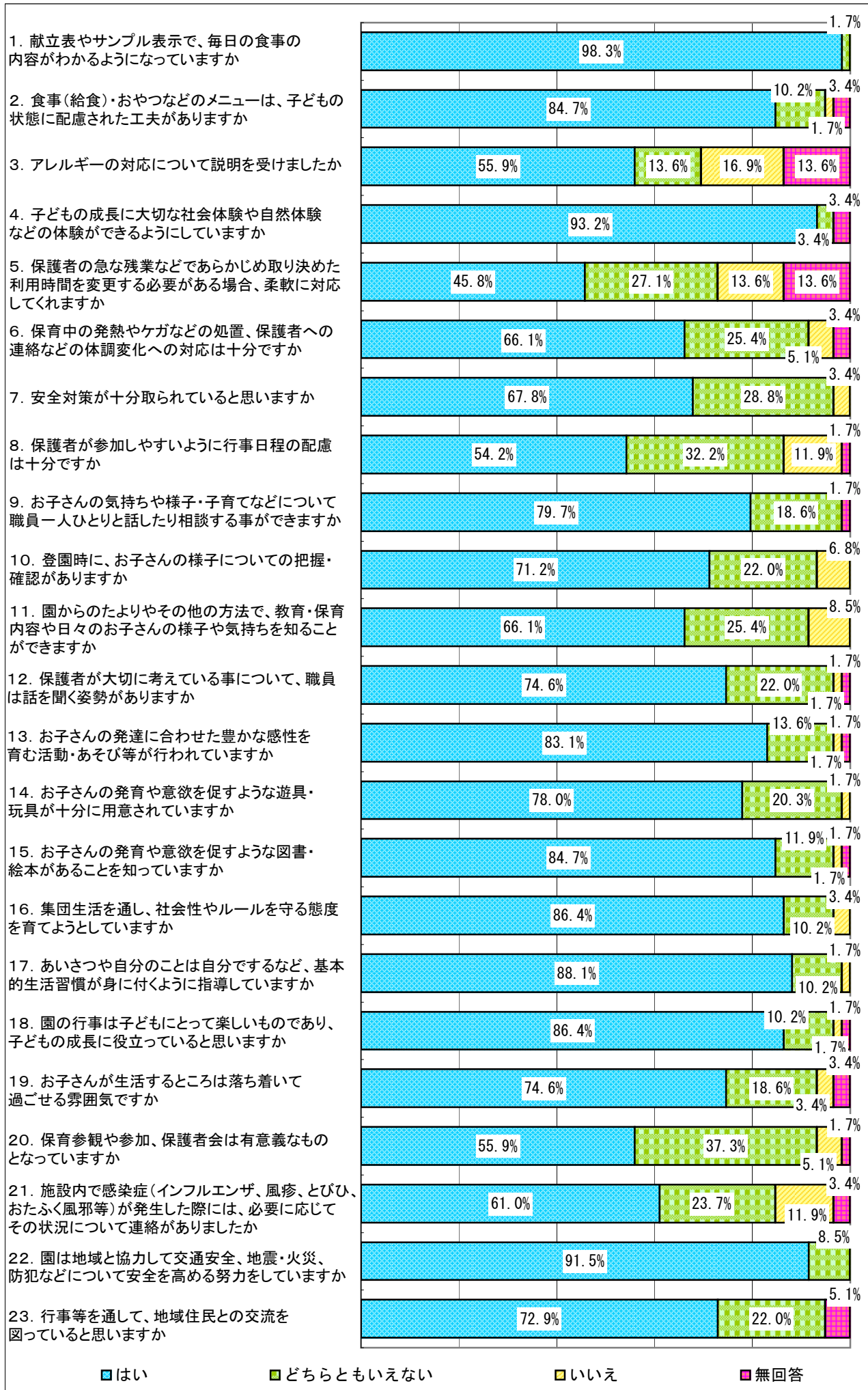
《 お子さんについて 》

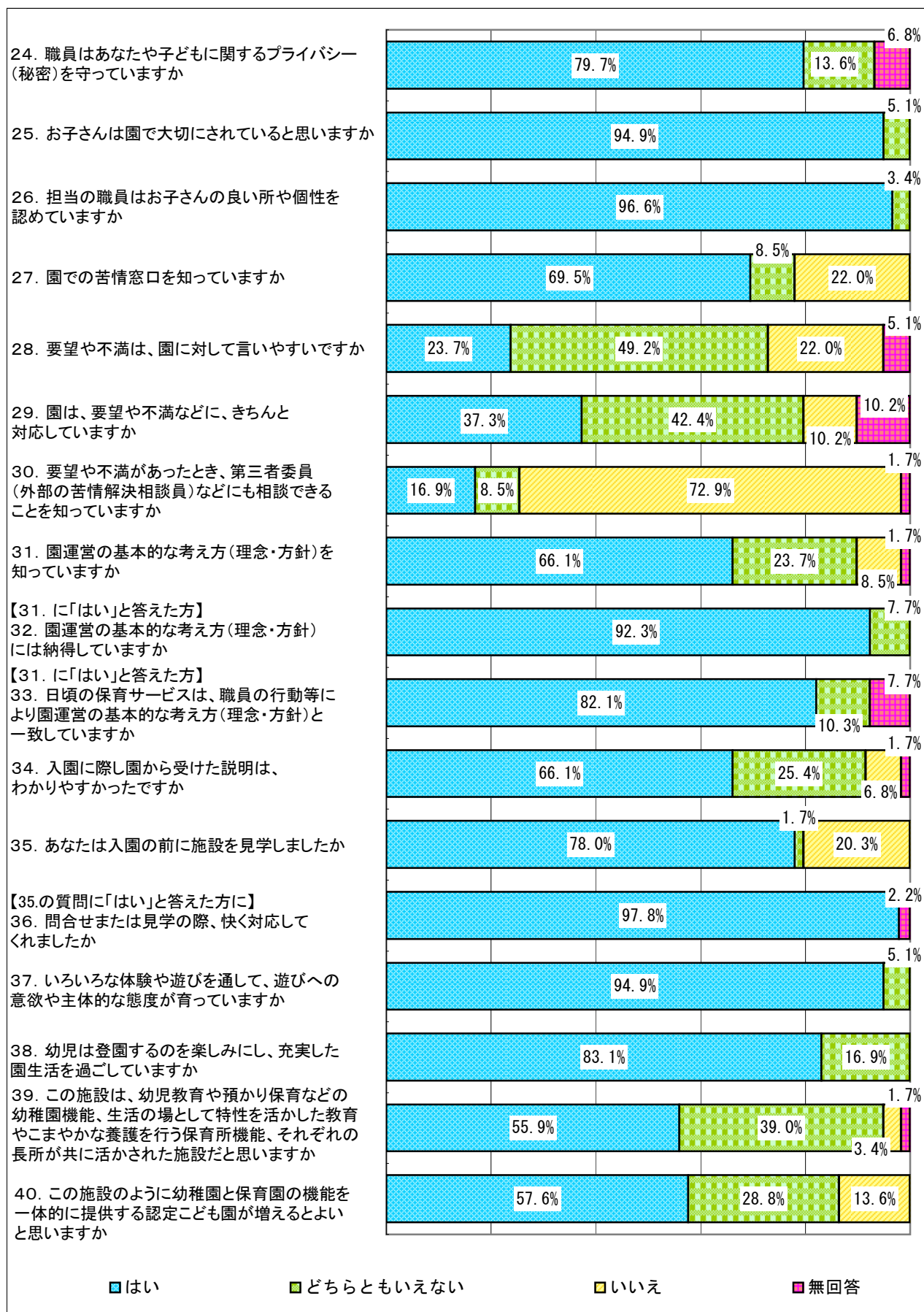
F1. こども園を利用しているお子さんの年齢

0歳	0	0.0%
1歳	2	2.9%
2歳	11	16.2%
3歳	19	27.9%
4歳	16	23.5%
5歳以上	20	29.4%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

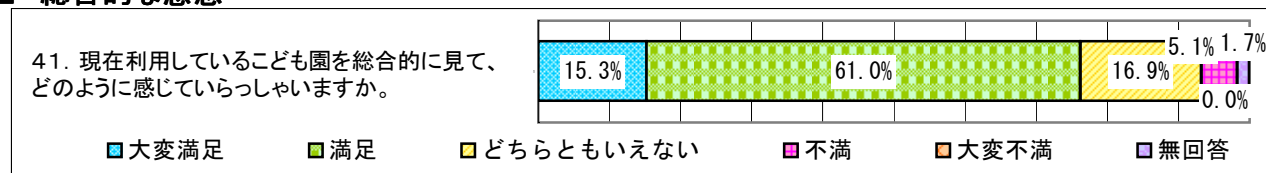


■ 質問別回答比率の比較表





■ 総合的な感想



■ 質問別回答者数の内訳表

(単位:人)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計
サービスの提供(毎日のサービスについて)	1. 献立表やサンプル表示で、毎日の食事の内容がわかるようになっていますか	58 98.3%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%
	2. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	50 84.7%	6 10.2%	1 1.7%	2 3.4%	59 100.0%
	3. アレルギーの対応について説明を受けましたか	33 55.9%	8 13.6%	10 16.9%	8 13.6%	59 100.0%
	4. 子どもの成長に大切な社会体験や自然体験などの体験ができるようになっていますか	55 93.2%	2 3.4%	0 0.0%	2 3.4%	59 100.0%
	5. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	27 45.8%	16 27.1%	8 13.6%	8 13.6%	59 100.0%
	6. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡などの体調変化への対応は十分ですか	39 66.1%	15 25.4%	3 5.1%	2 3.4%	59 100.0%
	7. 安全対策が十分取られていると思いますか	40 67.8%	17 28.8%	2 3.4%	0 0.0%	59 100.0%
	8. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	32 54.2%	19 32.2%	7 11.9%	1 1.7%	59 100.0%
	9. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員一人ひとりと話したり相談する事ができますか	47 79.7%	11 18.6%	0 0.0%	1 1.7%	59 100.0%
	10. 登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか	42 71.2%	13 22.0%	4 6.8%	0 0.0%	59 100.0%
	11. 園からのたよりやその他の方法で、教育・保育内容や日々のお子さんの様子や気持ちを知ることができますか	39 66.1%	15 25.4%	5 8.5%	0 0.0%	59 100.0%
	12. 保護者が大切に考えている事について、職員は話を聞く姿勢がありますか	44 74.6%	13 22.0%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
	13. お子さんの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・あそびなどが行われていますか	49 83.1%	8 13.6%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
	14. お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていますか	46 78.0%	12 20.3%	1 1.7%	0 0.0%	59 100.0%
	15. お子さんの発育や意欲を促すような図書・絵本があることを知っていますか	50 84.7%	7 11.9%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
	16. 集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか	51 86.4%	6 10.2%	2 3.4%	0 0.0%	59 100.0%
	17. あいさつや自分のことは自分でするなど、基本的な生活習慣が身に付くように指導していますか	52 88.1%	6 10.2%	1 1.7%	0 0.0%	59 100.0%
	18. 園の行事は子どもにとって楽しいものであり、子どもの成長に役立っていると思いますか	51 86.4%	6 10.2%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
	19. お子さんが生活するところは落ち着いて過ごせる雰囲気ですか	44 74.6%	11 18.6%	2 3.4%	2 3.4%	59 100.0%
	20. 保育参観や参加、保護者会は有意義なものとなっていますか	33 55.9%	22 37.3%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
	21. 施設内で感染症(インフルエンザ、風疹、とびひ、おたふく風邪等)が発生した際には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか	36 61.0%	14 23.7%	7 11.9%	2 3.4%	59 100.0%
	22. 園は地域と協力して交通安全、地震・火災、防犯などについて安全を高める努力をしていますか	54 91.5%	5 8.5%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%
	23. 行事等を通して、地域住民との交流を図っていると思いますか	43 72.9%	13 22.0%	0 0.0%	3 5.1%	59 100.0%
個人の尊重	24. 職員はあなたや子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	47 79.7%	8 13.6%	0 0.0%	4 6.8%	59 100.0%
	25. お子さんは園で大切にされていると思いますか	56 94.9%	3 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%
	26. 担当の職員はお子さんの良い所や個性を認めていますか	57 96.6%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%

■ 質問別回答者数の内訳表

(単位:人)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計
不満・要望への対応	27. 園での苦情窓口を知っていますか	41	5	13	0	59
		69.5%	8.5%	22.0%	0.0%	100.0%
	28. 要望や不満は、園に対して言いやすいですか	14	29	13	3	59
		23.7%	49.2%	22.0%	5.1%	100.0%
園運営	29. 園は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	22	25	6	6	59
		37.3%	42.4%	10.2%	10.2%	100.0%
	30. 要望や不満があったとき、第三者委員(外部の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	10	5	43	1	59
		16.9%	8.5%	72.9%	1.7%	100.0%
利用前の対応	31. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)を知っていますか	39	14	5	1	59
		66.1%	23.7%	8.5%	1.7%	100.0%
	【31. に「はい」と答えた方】 32. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)には納得していますか	36	3	0	0	39
		92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもの様子	【31. に「はい」と答えた方】 33. 日頃の保育サービスは、職員の行動等により園運営の基本的な考え方(理念・方針)と一致していますか	32	4	0	3	39
		82.1%	10.3%	0.0%	7.7%	100.0%
	34. 入園に際し園から受けた説明は、わかりやすかったですか	39	15	4	1	59
		66.1%	25.4%	6.8%	1.7%	100.0%
その他	35. あなたは入園の前に施設を見学しましたか	46	1	12	0	59
		78.0%	1.7%	20.3%	0.0%	100.0%
	【35.の質問に「はい」と答えた方に】 36. 問合せまたは見学の際、快く対応してくれましたか	45	0	0	1	46
		97.8%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%
その他	37. いろいろな体験や遊びを通して、遊びへの意欲や主体的な態度が育っていますか	56	3	0	0	59
		94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	38. 園児は登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか	49	10	0	0	59
		83.1%	16.9%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	39. この施設は、幼児教育や預かり保育などの幼稚園機能、生活の場として特性を活かした教育やこまやかな養護を行う保育所機能、それぞれの長所が共に活かされた施設だと思いますか	33	23	2	1	59
		55.9%	39.0%	3.4%	1.7%	100.0%
	40. この施設のように幼稚園と保育園の機能を一体的に提供する認定こども園が増えるとうよいと思いますか	34	17	8	0	59
		57.6%	28.8%	13.6%	0.0%	100.0%

《 総合的な感想について 》

41. 現在利用しているこども園を総合的に見て、どのように感じていらっしゃいますか。

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答	合計
9	36	10	3	0	1	59
15.3%	61.0%	16.9%	5.1%	0.0%	1.7%	100.0%

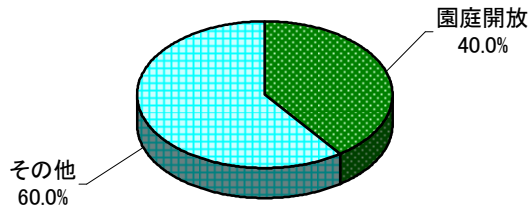
第三者評価利用者(子育て支援事業の利用保護者用)アンケート調査結果

◇石浜橋場こども園

■ サービスの種類

親子登園	0	0.0%
園庭開放	2	40.0%
一時保育	0	0.0%
その他	3	60.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100.0%

(単位:人) * 複数回答有り

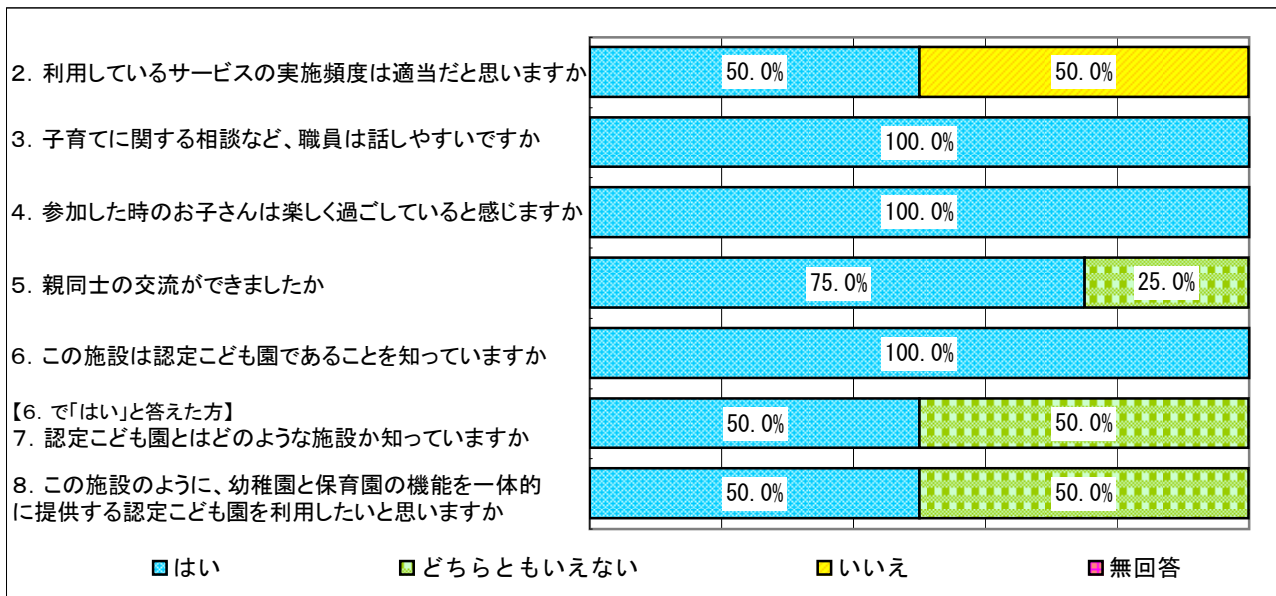


■ 質問別回答者数の内訳表

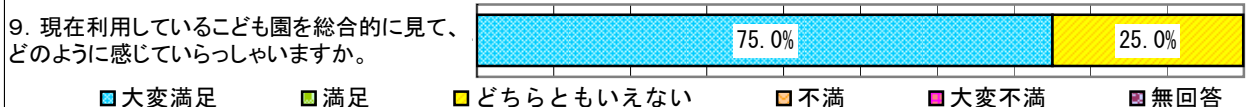
(単位:人)

	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計
サービスについて					
2. 利用しているサービスの実施頻度は適当だと思いますか	2	0	2	0	4
3. 子育てに関する相談など、職員は話しやすいですか	4	0	0	0	4
4. 参加した時のお子さんは楽しく過ごしていると感じますか	4	0	0	0	4
5. 親同士の交流ができましたか	3	1	0	0	4
6. この施設は認定こども園であることを知っていますか	4	0	0	0	4
その他					
【6. で「はい」と答えた方】					
7. 認定こども園とはどのような施設か知っていますか	2	2	0	0	4
8. この施設のように、幼稚園と保育園の機能を一体的に提供する認定こども園を利用したいと思いますか	2	2	0	0	4

■ 質問別回答比率の比較表



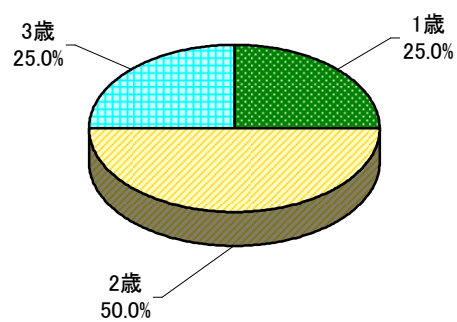
■ 総合的な感想



大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答	合計
3	0	1	0	0	0	4

F4. こども園を利用しているお子さんの年齢

0歳	0	0.0%
1歳	1	25.0%
2歳	2	50.0%
3歳	1	25.0%
4歳	0	0.0%
5歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	4	100.0%



Ⅲ. 職員自己調査結果 (データ集計)

■福祉サービス第三者評価 自己評価集計（職員）

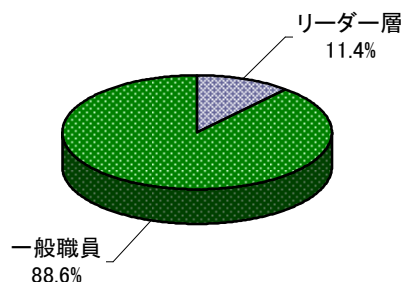
◇石浜橋場こども園

職員数	42人	回収数	35人
		回収率	83.3%

<< 回答者属性について >>

（単位：人）

リーダー層	一般職員	無回答	合計
4	31	0	35
11.4%	88.6%	0.0%	100.0%



<< 質問別の回答数内訳表 >>

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 認定こども園として目指していることの実現に向けて一丸となっている

（単位：人）

	できている	できていないところがある	できていない	知らない/わからない	無回答	合計
1.園が目指していること(教育・保育理念、基本方針)を明確化・周知している	24 68.6%	3 8.6%	2 5.7%	6 17.1%	0 0.0%	35 100.0%
2.管理者(認定こども園長・副園長・保育長)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、こども園をリードしている	22 62.9%	5 14.3%	1 2.9%	7 20.0%	0 0.0%	35 100.0%
3.重要な案件について、管理者は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	19 54.3%	6 17.1%	2 5.7%	8 22.9%	0 0.0%	35 100.0%

カテゴリー2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者・教育機関として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

	できている	できていないところがある	できていない	知らない/わからない	無回答	合計
1.社会人・福祉サービス・幼児教育に従事する者として守るべき法(児童福祉法、学校教育法、消防法、学校保健法、労働基準法等)・規範・倫理などを周知している	26 74.3%	3 8.6%	1 2.9%	5 14.3%	0 0.0%	35 100.0%
2.第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	26 74.3%	1 2.9%	1 2.9%	7 20.0%	0 0.0%	35 100.0%

サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取組を行っている

1.園の機能や幼児教育・福祉の専門性をいかした取り組みがある	23 65.7%	7 20.0%	0 0.0%	5 14.3%	0 0.0%	35 100.0%
2.地域との関係機関との連携を図っている	22 62.9%	7 20.0%	0 0.0%	6 17.1%	0 0.0%	35 100.0%

カテゴリー3 保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画

サブカテゴリー1 保護者の意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

	できている	できていないところがある	できていない	知らない/わからない	無回答	合計
1.保護者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(情報解決制度を含む)	14 40.0%	12 34.3%	1 2.9%	7 20.0%	1 2.9%	35 100.0%
2.保護者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	23 65.7%	3 8.6%	1 2.9%	7 20.0%	1 2.9%	35 100.0%
3.地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	18 51.4%	9 25.7%	1 2.9%	7 20.0%	0 0.0%	35 100.0%

カテゴリー3 保護者の意向や地域・事業環境の把握と活用及び中長期目標と計画

サブカテゴリー2 こども園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定している

(単位:人)

	できている	できていない ところがある	できていない	知らない/ わからない	無回答	合計
1.外部環境、内部環境を踏まえて、こども園の中長期計画を作成している	20	7	0	8	0	35
	57.1%	20.0%	0.0%	22.9%	0.0%	100.0%

カテゴリー4 安全管理

サブカテゴリー1 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

	できている	できていない ところがある	できていない	知らない/ わからない	無回答	合計
1子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる※事故、感染症の発生時などの対応、防犯・防災等	27	5	0	3	0	35
	77.1%	14.3%	0.0%	8.6%	0.0%	100.0%

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 こども園が目指していることを実現する人材の確保・育成に取り組んでいるか

	できている	できていない ところがある	できていない	知らない/ わからない	無回答	合計
1.園にとって必要な人材構成にしている	19	6	3	7	0	35
	54.3%	17.1%	8.6%	20.0%	0.0%	100.0%
2.職員の質の向上に取り組んでいる	20	6	3	6	0	35
	57.1%	17.1%	8.6%	17.1%	0.0%	100.0%

サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

1.職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	23	5	1	6	0	35
	65.7%	14.3%	2.9%	17.1%	0.0%	100.0%
2.職員一人ひとりのやる気向上に取り組んでいる	20	7	2	6	0	35
	57.1%	20.0%	5.7%	17.1%	0.0%	100.0%
3.円滑なコミュニケーションを図り、組織として質の向上に取り組んでいる	25	4	0	6	0	35
	71.4%	11.4%	0.0%	17.1%	0.0%	100.0%

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービスの提供

	できている	できていない ところがある	できていない	知らない/ わからない	無回答	合計
1.保護者等に対してサービスの情報を提供している	23	7	0	5	0	35
	65.7%	20.0%	0.0%	14.3%	0.0%	100.0%

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

1.サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	20	3	1	11	0	35
	57.1%	8.6%	2.9%	31.4%	0.0%	100.0%
2.サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	15	9	1	10	0	35
	42.9%	25.7%	2.9%	28.6%	0.0%	100.0%

サブカテゴリー3 計画の策定と着実な実行

1.こども園としての教育課程・保育計画は、理念・基本方針の基つき策定されている	21	6	0	8	0	35
	60.0%	17.1%	0.0%	22.9%	0.0%	100.0%
2.子どもの発達や状況に応じた指導計画を作成している	21	7	0	7	0	35
	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%

サブカテゴリー4 個別状況に応じた計画策定・記録

1.必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	17	10	2	6	0	35
	48.6%	28.6%	5.7%	17.1%	0.0%	100.0%
2.必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している	17	11	0	7	0	35
	48.6%	31.4%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
3.必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	23	5	0	7	0	35
	65.7%	14.3%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
4.子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している	22	7	0	6	0	35
	62.9%	20.0%	0.0%	17.1%	0.0%	100.0%

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー5 サービスの実施

(単位:人)

	できている	できていない ところがある	できていない	知らない/ わからない	無回答	合計
1.子どもの発達を促すための保育を行っている	25 71.4%	4 11.4%	0 0.0%	5 14.3%	1 2.9%	35 100.0%
2.幼稚園と保育園の機能が一体的に提供されている	24 68.6%	6 17.1%	1 2.9%	3 8.6%	1 2.9%	35 100.0%
3.適切な教育・保育環境を整えている	26 74.3%	2 5.7%	1 2.9%	5 14.3%	1 2.9%	35 100.0%
4.栄養バランスを考慮した上で、おいしい食事を出している	30 85.7%	2 5.7%	0 0.0%	2 5.7%	1 2.9%	35 100.0%
5.子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	21 60.0%	7 20.0%	0 0.0%	6 17.1%	1 2.9%	35 100.0%
6.園内の生活が、子ども達にとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	20 57.1%	7 20.0%	2 5.7%	5 14.3%	1 2.9%	35 100.0%
7.施設と家庭との交流・連携を緊密に行っている	22 62.9%	8 22.9%	0 0.0%	4 11.4%	1 2.9%	35 100.0%
8.虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている	19 54.3%	6 17.1%	0 0.0%	9 25.7%	1 2.9%	35 100.0%
9.地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	22 62.9%	6 17.1%	1 2.9%	5 14.3%	1 2.9%	35 100.0%
10.地域のニーズに対応した子育て支援事業を行っている	18 51.4%	10 28.6%	0 0.0%	6 17.1%	1 2.9%	35 100.0%
11.小学校との連携を行っている	20 57.1%	5 14.3%	0 0.0%	9 25.7%	1 2.9%	35 100.0%

サブカテゴリー6 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

1.子どものプライバシー保護を徹底している	25 71.4%	3 8.6%	0 0.0%	6 17.1%	1 2.9%	35 100.0%
2.サービスの実施に当たり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	25 71.4%	3 8.6%	0 0.0%	6 17.1%	1 2.9%	35 100.0%
3.障害児を受け入れるにあたり、保育内容の配慮を行っている	24 68.6%	3 8.6%	1 2.9%	6 17.1%	1 2.9%	35 100.0%

サブカテゴリー7 こども園業務の標準化

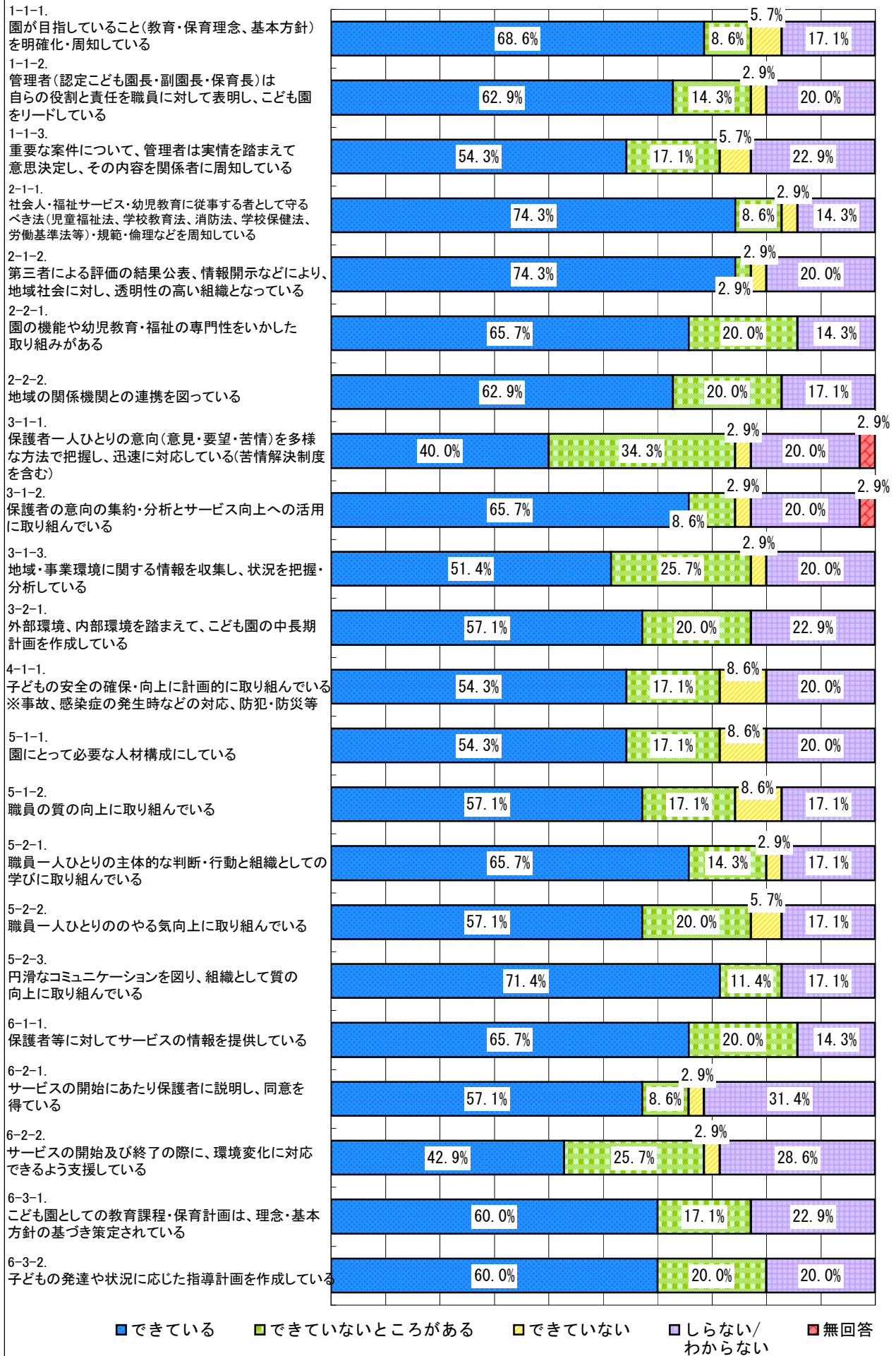
1.手引書等を整備し、こども園業務の標準化を図るための取り組みをしている	14 40.0%	9 25.7%	0 0.0%	11 31.4%	1 2.9%	35 100.0%
2.サービスの向上をめざして、こども園の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	17 48.6%	8 22.9%	1 2.9%	8 22.9%	1 2.9%	35 100.0%
3.さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	23 65.7%	4 11.4%	1 2.9%	6 17.1%	1 2.9%	35 100.0%

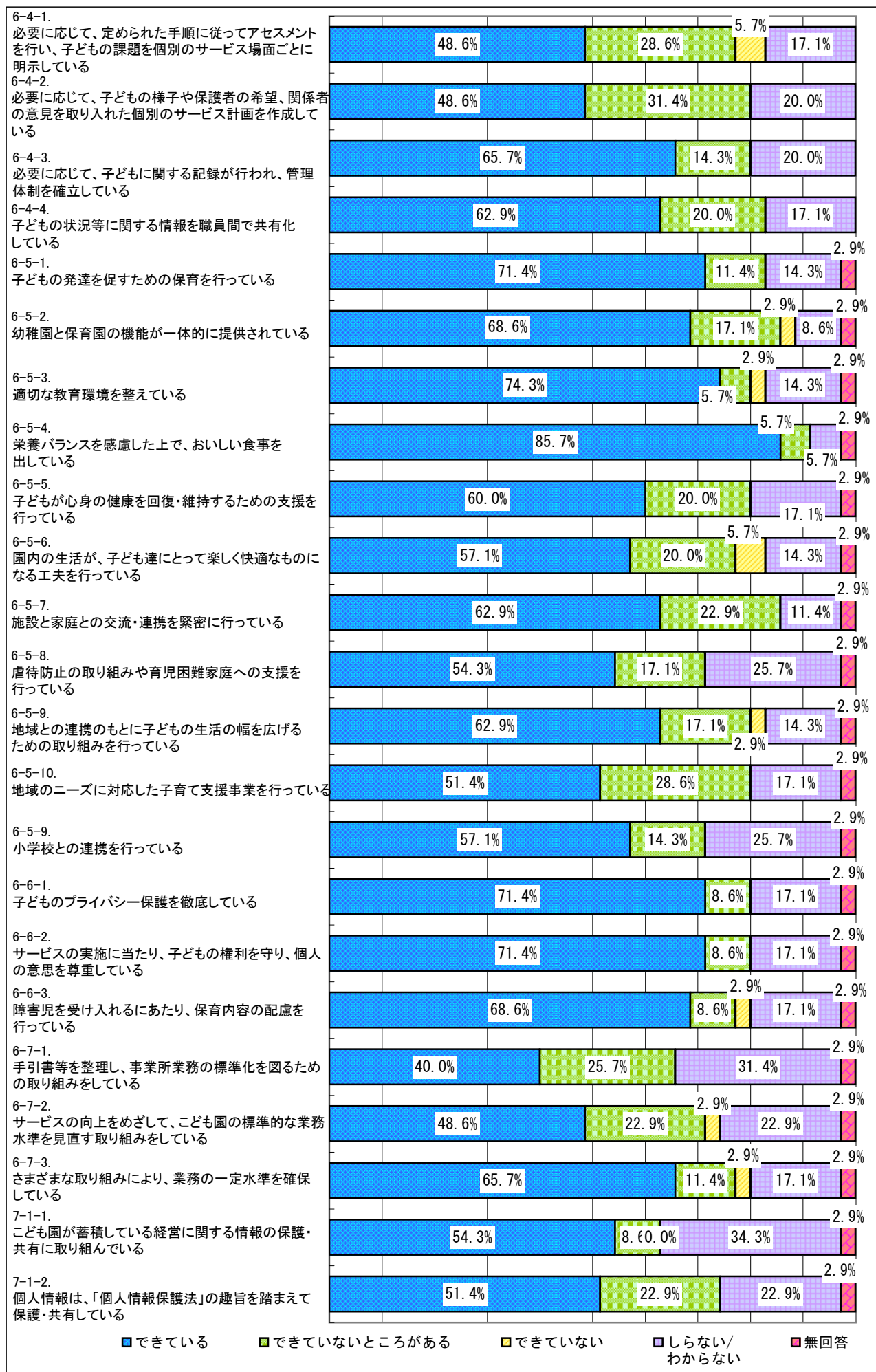
カテゴリー7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んでいる

	できている	できていない ところがある	できていない	知らない/ わからない	無回答	合計
1.こども園が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	19 54.3%	3 8.6%	0 0.0%	12 34.3%	1 2.9%	35 100.0%
2.個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	18 51.4%	8 22.9%	0 0.0%	8 22.9%	1 2.9%	35 100.0%

<< 質問別回答比率の比較表 >>





株式会社 学研データサービス

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13
TEL 03-5436-8191 FAX 03-5487-8810

〈福祉サービス第三者評価機関〉

- ◆ 東京都 認証 機構05-149
- ◆ 埼玉県 認証 埼玉2004003
- ◆ 群馬県 認証 評推進ぐ機関19-02
- ◆ 千葉県 認証 千葉県健指指令第2995号の10
- ◆ 神奈川県 認証 第9号
 - 横浜市 指定 第9号
 - 川崎市 評価手法使用承諾

